
まちづくりに関するアンケート調査 － 自治会対象 － 調査結果報告書

2015 年（平成 27 年）8 月

高 砂 市

目 次

I 調査の目的と方法	1
1. 調査目的	2
2. 調査設計と回収結果	2
3. 報告書の見方	2
II 自治会アンケート調査集計結果.....	3
1. 回答者属性.....	4
2. 地域のこと	9
3. 地域の生活環境	13
4. 人口減少	33
5. 人口減少対策の取組	36
6. 自由意見	40
III アンケート調査票	43

I 調査の目的と方法

1. 調査目的

本調査は、居住環境や人口減少対策について、地域の実情や課題にお詳しい自治会の役員などの皆様の意向を把握し、地方創生総合戦略や総合計画後期基本計画の策定にあたっての基礎資料とすることを目的に実施するものである。

2. 調査設計と回収結果

調査対象	自治会の役員、隣保長
抽出方法	連合自治会理事会で依頼、各地区会長から配布
調査方法	郵送による回収
調査期間	平成 27 年 5 月 11 日～平成 27 年 5 月 29 日
調査票配布数	1,000 人
有効回収数	639 人
有効回収率	63.9%

3. 報告書の見方

- (1) 回収票については、最も重要な属性全てが無回答でない限り、有効票として取り扱っている。
- (2) 回答比率（%）は、その質問の回答者数を基数（N=Number of case）として算出した。
- (3) 集計結果はすべて、小数点第 2 位を四捨五入しており、比率の合計が 100.0%にならないことがある。
- (4) 各設問において、居住地区や年齢の無回答は集計に含んでいないため、集計結果の合計は全体票数にならないことがある。
- (5) 図表では、コンピュータ入力の都合上、回答の選択肢を短縮している場合がある。

Ⅱ 自治会アンケート調査集計結果

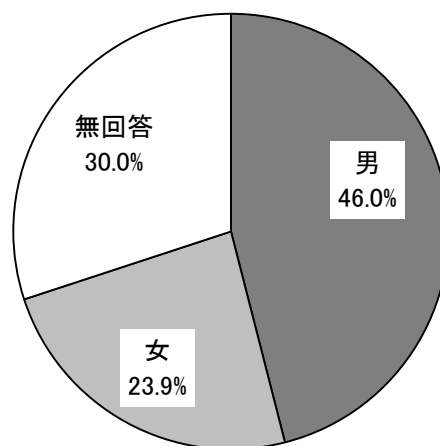
1. 回答者属性

問 1 性別

回答者の性別については、「男性」が 46.0%、「女性」が 23.9%である。

【図 1 性別】

(N=639)



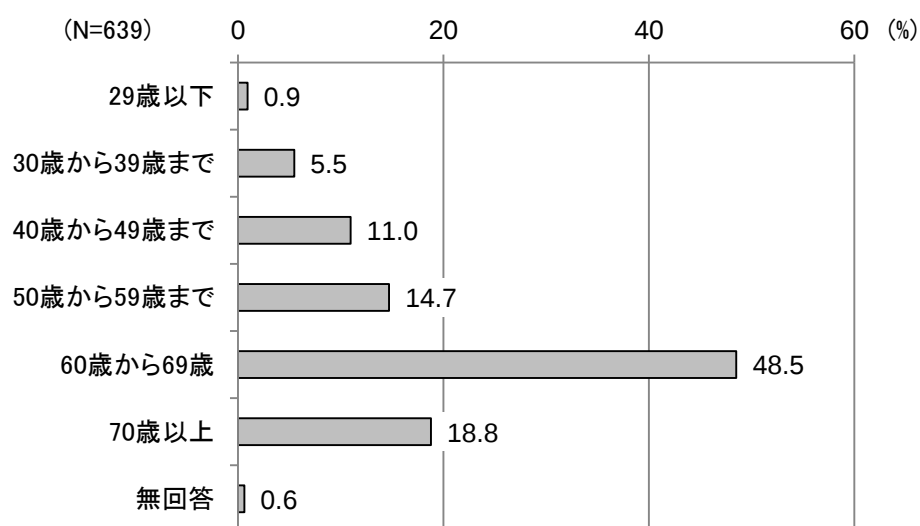
※調査票の男女の区分が設問と認識されず「無回答」が多くなっている。

問2 年齢

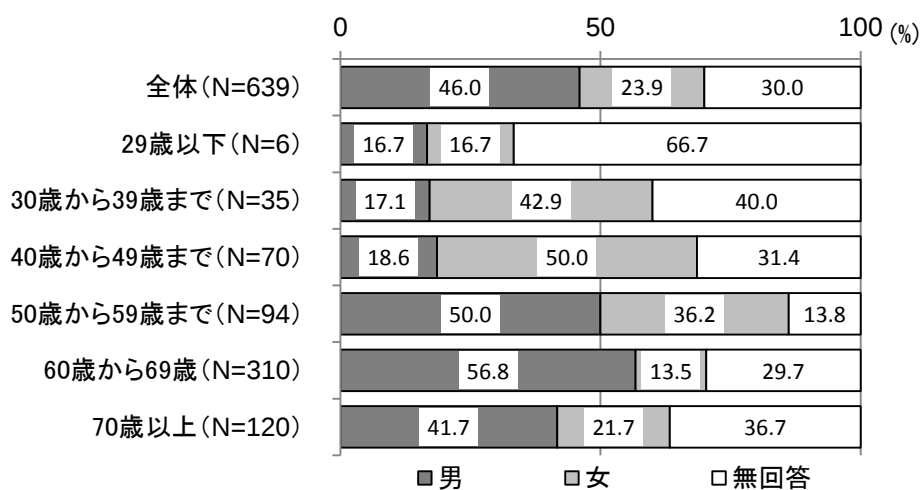
回答者の年齢については、調査対象が自治会の役員や隣保長であることもあり、「60歳から69歳」が最も多く、48.5%である。

年代別・男女別で見ると、「30歳から39歳まで」、「40歳から49歳まで」で男性よりも女性の割合が高い。回答者のうち「60歳から69歳」の男性が全体の27.5%を占めている。

【図2 年齢】



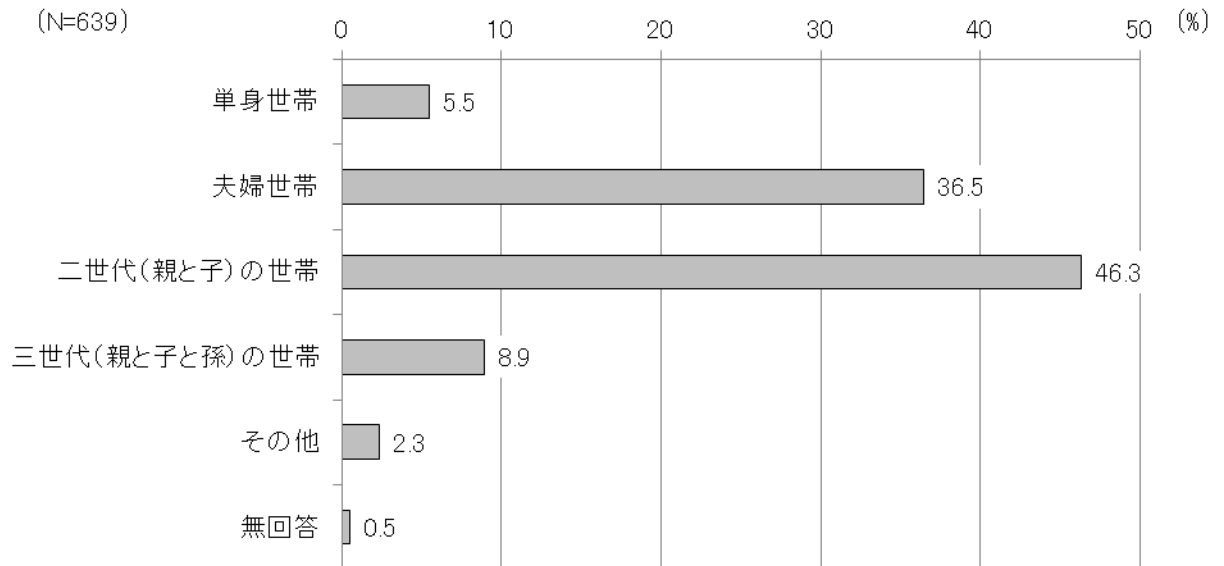
【図3 年代別・性別】



問3 家族構成

「二世代（親と子）の世帯」が最も多く、46.3%である。
続いて、「夫婦世帯」が多い。

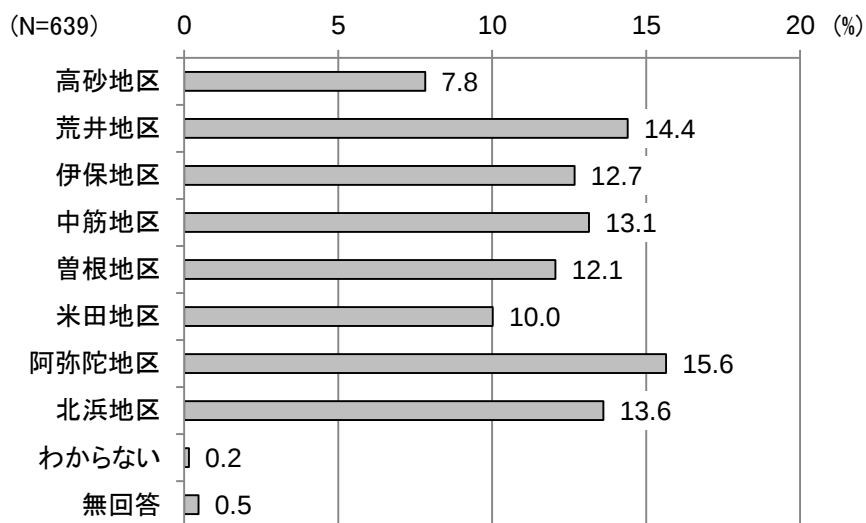
【図4 家族構成】



問4 居住地区

「阿弥陀地区」が一番多く、「荒井地区」、「北浜地区」、「中筋地区」、「伊保地区」、「曾根地区」、「米田地区」、「高砂地区」の順となっている。

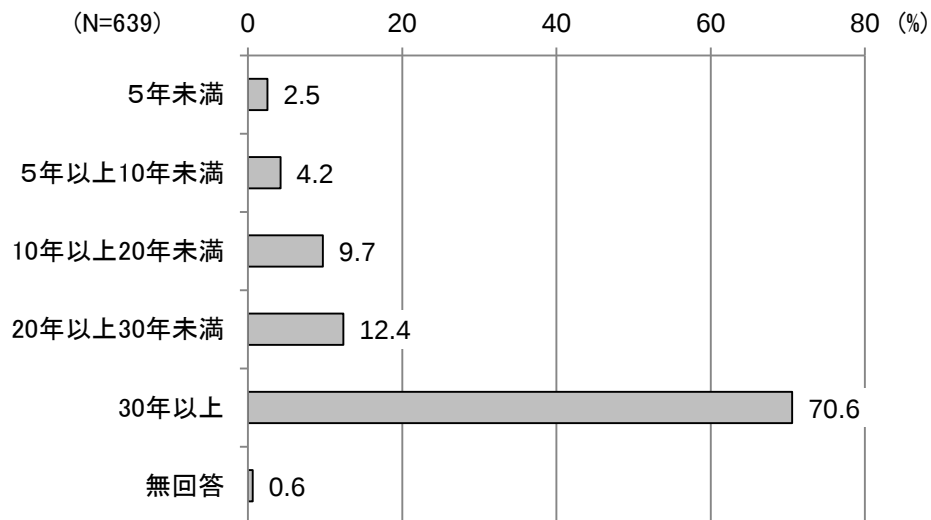
【図5 居住地区】



問5 市内居住期間

「30年以上」が圧倒的に多く、70.6%である。

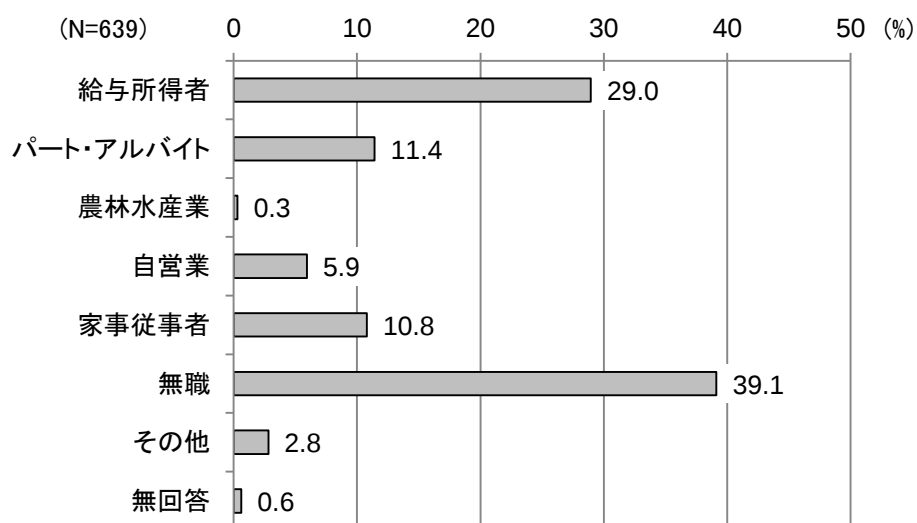
【図6 市内居住期間】



問6 職業

「無職」が最も多く、39.1%である。続いて、「給与所得者」が多い。

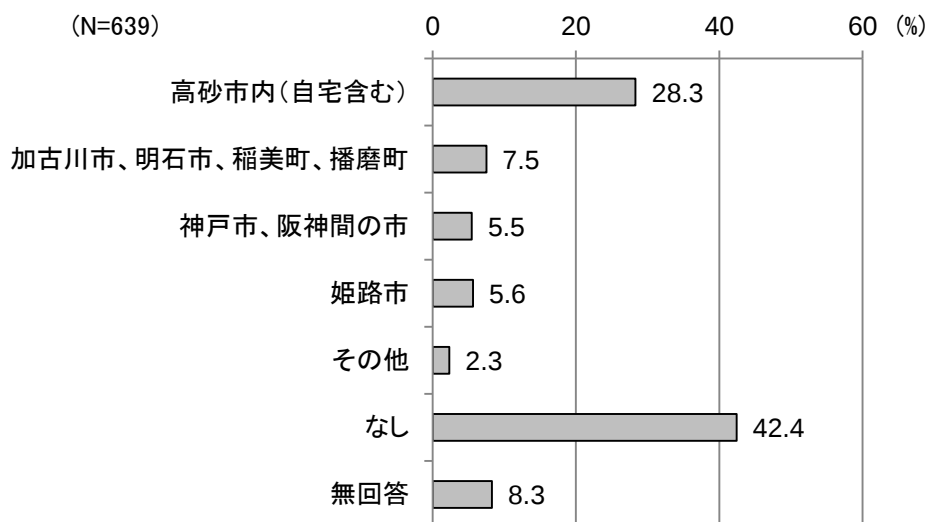
【図7 職業】



問 7 通勤先

「高砂市内（自宅含む）」が 28.3%である。
通勤先「なし」が 42.4%で最も多い。

【図 8 通勤先】



2. 地域※のこと

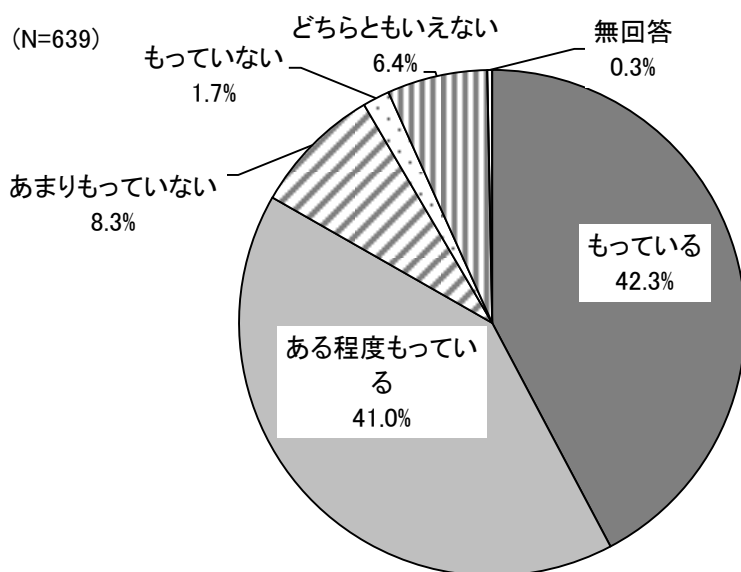
(※「地域」とは、お住まいの自治会及びその周辺をいう。)

問8 あなたは、お住まいの地域に「自分のまち」として、どの程度『愛着・親しみ』をもっていますか。

「もっている」、「ある程度もっている」を合わせると 83.3%である。

「もっていない」、「あまりもっていない」を合わせると 10.0%である。

【図9 地域への愛着】



【図10 地区別・地域への愛着】

(%)

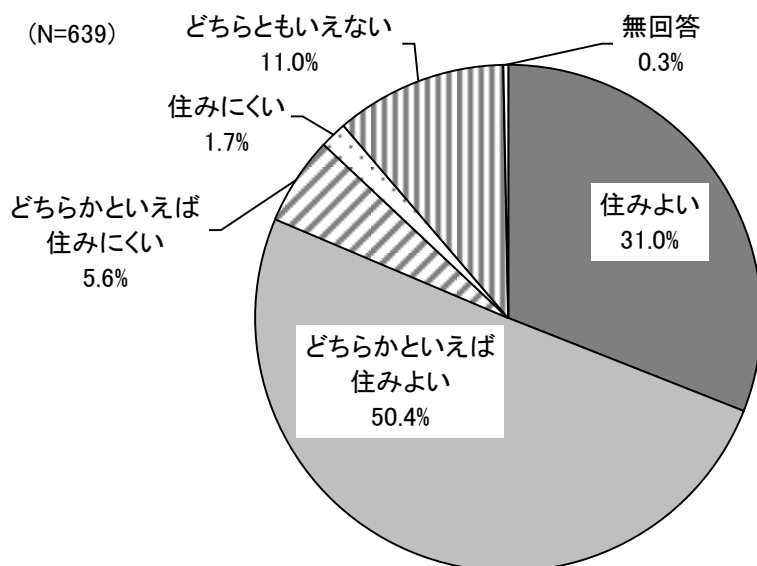
	もっている	ある程度もっている	あまりもっていない	もっていない	どちらともいえない	無回答
全体 (N=639)	42.3	41.0	8.3	1.7	6.4	0.3
高砂地区 (N=50)	58.0	28.0	8.0	4.0	2.0	—
荒井地区 (N=92)	42.4	42.4	7.6	2.2	5.4	—
伊保地区 (N=81)	43.2	42.0	3.7	—	9.9	1.2
中筋地区 (N=84)	25.0	56.0	7.1	4.8	7.1	—
曾根地区 (N=77)	33.8	42.9	15.6	—	7.8	—
米田地区 (N=64)	46.9	39.1	6.3	3.1	3.1	1.6
阿弥陀地区 (N=100)	49.0	35.0	10.0	1.0	5.0	—
北浜地区 (N=87)	46.0	37.9	6.9	—	9.2	—

問9 あなたは、お住いの地域を住みよいまちだと感じますか。

「住みよい」、「どちらかといえば住みよい」を合わせると 81.4%である。

「住みにくい」、「どちらかといえば住みにくい」を合わせても 10%に満たない。

【図 11 地域の住みやすさ】



【図 12 地区別・地域の住みやすさ】

(%)

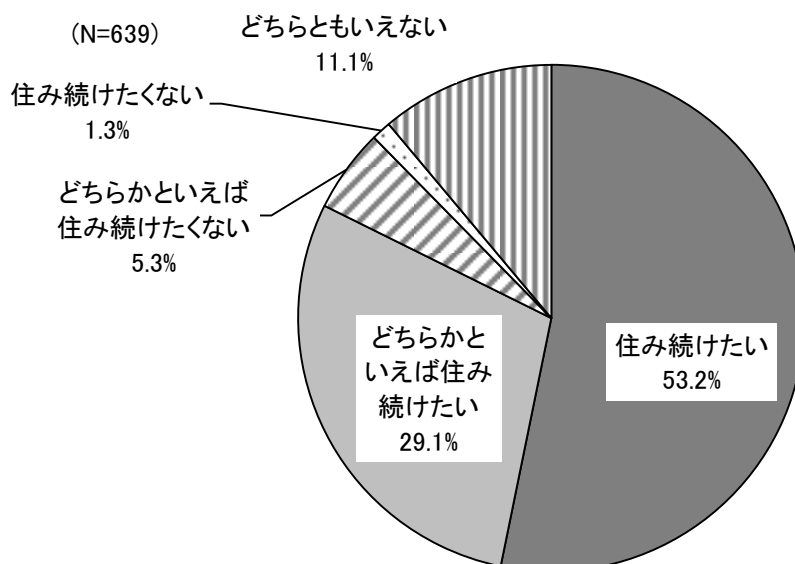
	住みよい	どちらかとい えば住 みよい	どちらかとい えば住 みにくい	住みにくい	どちらとも いえない	無回答
全体 (N=639)	31.0	50.4	5.6	1.7	11.0	0.3
高砂地区 (N=50)	48.0	38.0	4.0	6.0	4.0	—
荒井地区 (N=92)	44.6	45.7	2.2	—	7.6	—
伊保地区 (N=81)	27.2	54.3	3.7	—	13.6	1.2
中筋地区 (N=84)	17.9	61.9	8.3	1.2	10.7	—
曾根地区 (N=77)	32.5	44.2	7.8	3.9	11.7	—
米田地区 (N=64)	39.1	42.2	4.7	1.6	10.9	1.6
阿弥陀地区 (N=100)	22.0	58.0	5.0	2.0	13.0	—
北浜地区 (N=87)	27.6	49.4	9.2	1.1	12.6	—

問 10 あなたは、今後もお住いの地域に住み続けたいと思いますか。

「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」を合わせると 82.3%である。

「住み続けたくない」、「どちらかといえば住み続けたくない」を合わせても 10%に満たない。

【図 13 住み続ける意向】



【図 14 地区別・住み続ける意向】

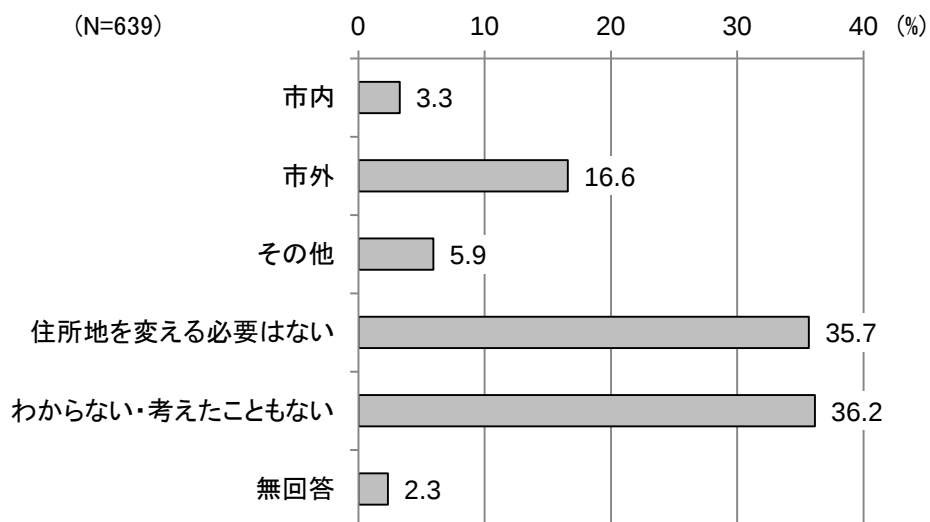
(%)

	住み続けたい	どちらかといえば住み続けたい	どちらかといえば住み続けたくない	住み続けたくない	どちらともいえない
全体 (N=639)	53.2	29.1	5.3	1.3	11.1
高砂地区 (N=50)	50.0	28.0	8.0	4.0	10.0
荒井地区 (N=92)	68.5	20.7	3.3	—	7.6
伊保地区 (N=81)	49.4	35.8	—	—	14.8
中筋地区 (N=84)	47.6	36.9	6.0	2.4	7.1
曾根地区 (N=77)	51.9	24.7	11.7	2.6	9.1
米田地区 (N=64)	54.7	23.4	4.7	—	17.2
阿弥陀地区 (N=100)	51.0	34.0	3.0	1.0	11.0
北浜地区 (N=87)	51.7	26.4	6.9	1.1	13.8

問 11 あなたが、もし住所地を変えるなら、どこに住みたいと思いますか。

「わからない・考えたこともない」、「住所地を変える必要はない」がともに多く合わせて 71.9% である。

【図 15 住所地変更の意向】



※「市内」と回答した人の具体的な内容は、「伊保地区」や「荒井地区」が多い。

「市外」と回答した人の具体的な内容は、「神戸市」、「姫路市」、「加古川市」が多い。

「その他」と回答した人の具体的な内容は、「県外」が多い。

【図 16 地区別・住所地変更の意向】

(%)

	市内	市外	その他	住所地を 変える必 要はない	わからな い・考えた こともない	無回答
全体(N=639)	3.3	16.6	5.9	35.7	36.2	2.3
高砂地区(N=50)	2.0	20.0	4.0	26.0	46.0	2.0
荒井地区(N=92)	6.5	14.1	6.5	40.2	31.5	1.1
伊保地区(N=81)	2.5	17.3	8.6	44.4	23.5	3.7
中筋地区(N=84)	6.0	14.3	6.0	35.7	35.7	2.4
曾根地区(N=77)	1.3	29.9	3.9	27.3	35.1	2.6
米田地区(N=64)	1.6	7.8	9.4	35.9	42.2	3.1
阿弥陀地区(N=100)	1.0	13.0	5.0	35.0	43.0	3.0
北浜地区(N=87)	4.6	16.1	4.6	36.8	36.8	1.1

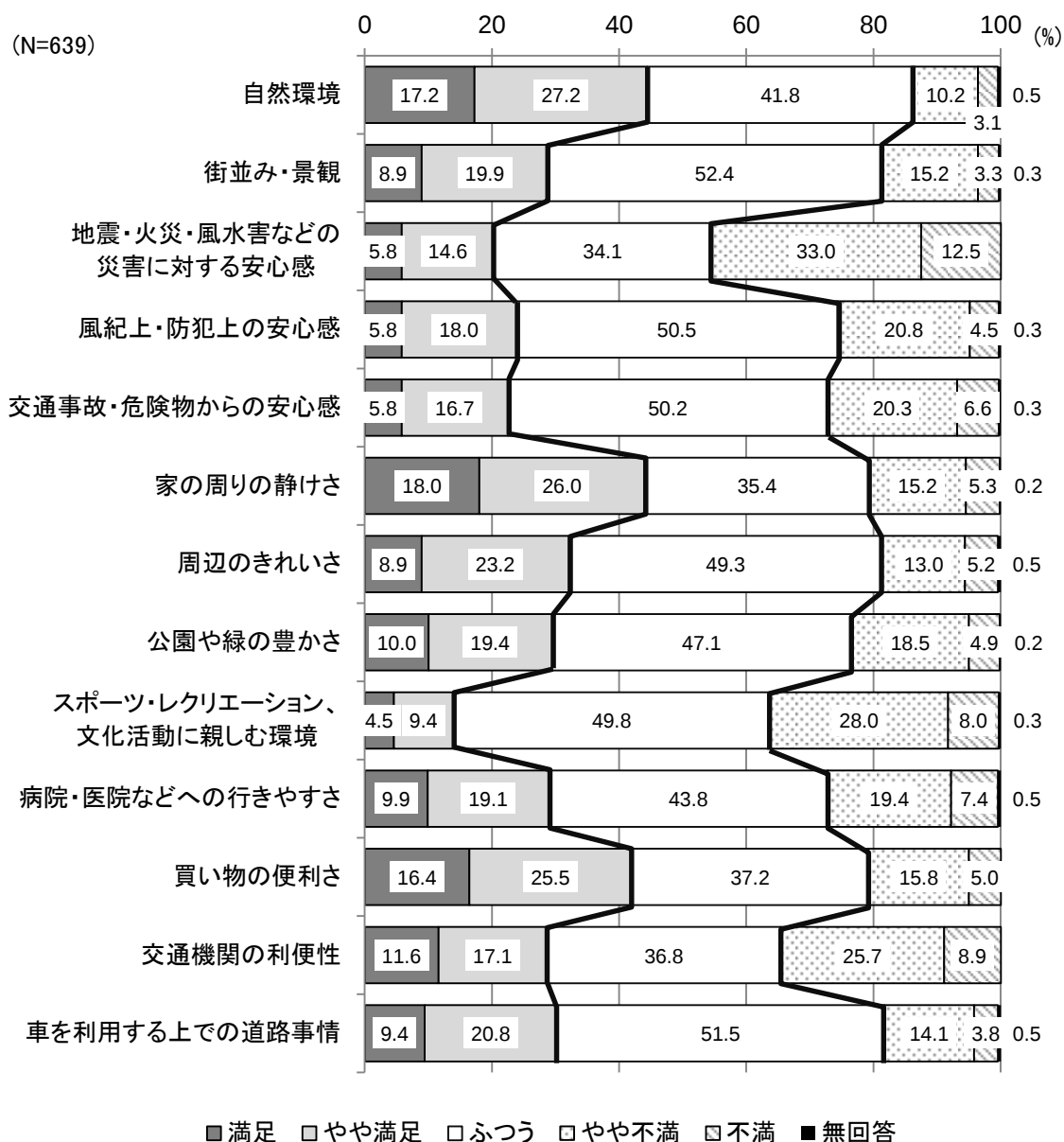
3. 地域の生活環境

問 12～24 あなたのお住まい周辺の生活環境について伺います。次にあげる項目についてどの程度満足していますか。それぞれの項目ごとに、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

最も満足度が高い（「満足」、「やや満足」）のは「自然環境」で、続いて「家の周りの静けさ」、「買い物物の便利さ」である。

最も満足度が低い（「不満」、「やや不満」）のは「地震・火災・風水害などの災害に対する安心感」で、続いて「スポーツ・レクリエーション、文化活動に親しむ環境」、「交通機関の利便性」である。

【図 17 周辺環境の満足度】



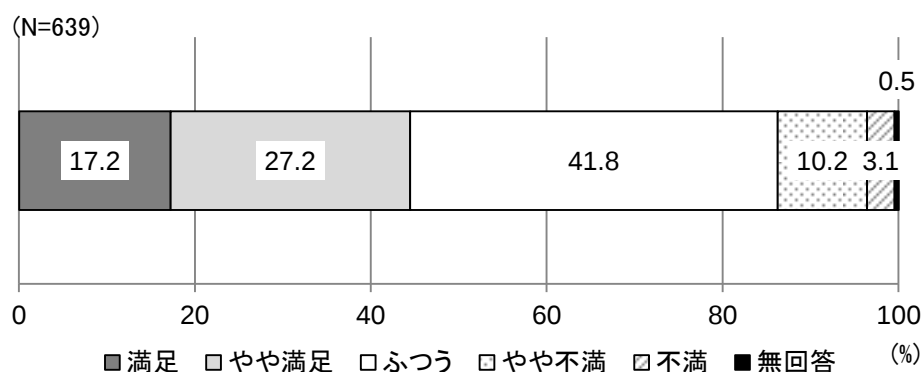
問 12 自然環境への満足度

「満足」、「やや満足」を合わせると 44.4%である。

「不満」、「やや不満」を合わせると 13.3%である。

地区別にみると、全体と比較して「北浜地区」で「満足」、「やや満足」を合わせた割合が高い。
一方で「伊保地区」、「高砂地区」で「不満」、「やや不満」を合わせた割合が高い。

【図 18 自然環境への満足度】



【図 19 地区別・自然環境への満足度】

	(%)					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全体 (N=639)	17.2	27.2	41.8	10.2	3.1	0.5
高砂地区 (N=50)	18.0	14.0	48.0	14.0	6.0	—
荒井地区 (N=92)	14.1	23.9	44.6	14.1	3.3	—
伊保地区 (N=81)	16.0	21.0	40.7	16.0	4.9	1.2
中筋地区 (N=84)	8.3	25.0	57.1	4.8	4.8	—
曾根地区 (N=77)	9.1	26.0	49.4	13.0	1.3	1.3
米田地区 (N=64)	21.9	34.4	32.8	6.3	4.7	—
阿弥陀地区 (N=100)	18.0	32.0	39.0	9.0	1.0	1.0
北浜地区 (N=87)	33.3	36.8	25.3	3.4	1.1	—

問 13 街並み・景観への満足度

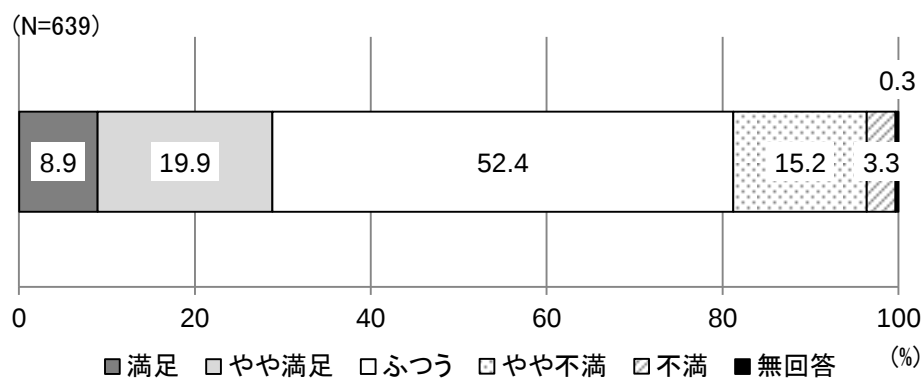
「満足」、「やや満足」を合わせると 28.8%である。

「不満」、「やや不満」を合わせると 18.5%である。

地区別にみると、全体と比較して「米田地区」、「北浜地区」、「阿弥陀地区」で「満足」、「やや満足」を合わせた割合が高い。

一方で「高砂地区」、「曽根地区」で「不満」、「やや不満」を合わせた割合が高い。

【図 20 街並み・景観への満足度】



【図 21 地区別・街並み・景観への満足度】

(%)

	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全体 (N=639)	8.9	19.9	52.4	15.2	3.3	0.3
高砂地区 (N=50)	10.0	18.0	44.0	24.0	4.0	—
荒井地区 (N=92)	9.8	17.4	62.0	9.8	1.1	—
伊保地区 (N=81)	7.4	19.8	50.6	16.0	4.9	1.2
中筋地区 (N=84)	6.0	15.5	56.0	17.9	4.8	—
曽根地区 (N=77)	6.5	10.4	57.1	20.8	5.2	—
米田地区 (N=64)	15.6	21.9	45.3	10.9	4.7	1.6
阿弥陀地区 (N=100)	9.0	27.0	47.0	15.0	2.0	—
北浜地区 (N=87)	9.2	27.6	52.9	10.3	—	—

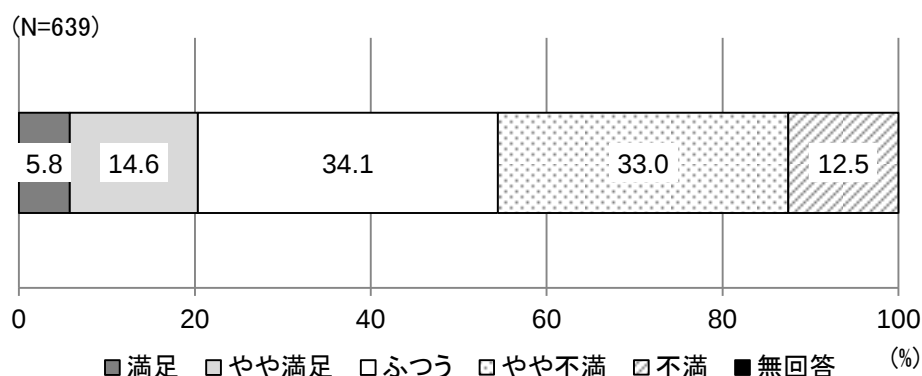
問 14 地震・火災・風水害などの災害に対する安心感への満足度

「満足」、「やや満足」を合わせると 20.4%である。

「やや不満」が 33.0%あり、「不満」、「やや不満」を合わせると 45.5%である。

地区別にみると、全体と比較して「荒井地区」で「満足」、「やや満足」を合わせた割合が高い。
一方で「曽根地区」で「不満」、「やや不満」を合わせた割合が高い。

【図 22 災害に対する安心感への満足度】



【図 23 地区別・災害に対する安心感への満足度】

(%)

	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全体 (N=639)	5.8	14.6	34.1	33.0	12.5	—
高砂地区 (N=50)	4.0	22.0	34.0	28.0	12.0	—
荒井地区 (N=92)	8.7	19.6	42.4	25.0	4.3	—
伊保地区 (N=81)	8.6	12.3	32.1	38.3	8.6	—
中筋地区 (N=84)	3.6	14.3	35.7	34.5	11.9	—
曽根地区 (N=77)	3.9	3.9	31.2	33.8	27.3	—
米田地区 (N=64)	6.3	12.5	26.6	37.5	17.2	—
阿弥陀地区 (N=100)	7.0	17.0	26.0	39.0	11.0	—
北浜地区 (N=87)	3.4	16.1	44.8	25.3	10.3	—

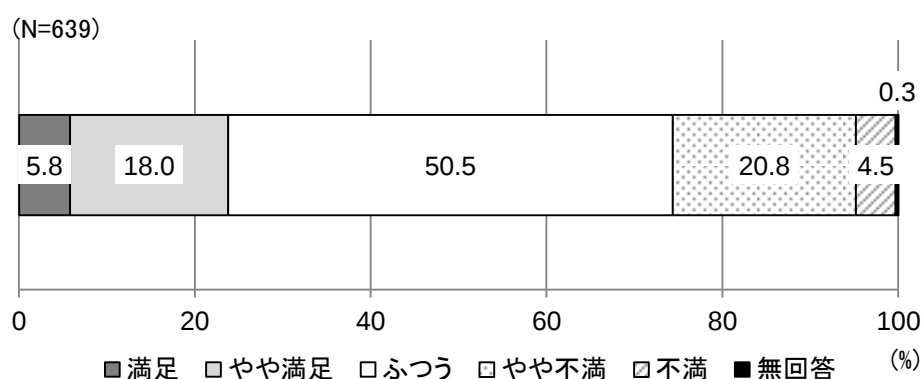
問 15 風紀上・防犯上の安心感への満足度

「満足」、「やや満足」を合わせると 23.8%である。

「不満」、「やや不満」を合わせると 25.3%である。

地区別にみると、全体と比較して「曽根地区」で「満足」、「やや満足」を合わせた割合が低い。
一方で「中筋地区」、「曽根地区」で「不満」、「やや不満」を合わせた割合が高い。

【図 24 風紀上・防犯上の安心感への満足度】



【図 25 地区別・風紀上・防犯上の安心感への満足度】

	(%)					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全体 (N=639)	5.8	18.0	50.5	20.8	4.5	0.3
高砂地区 (N=50)	6.0	24.0	48.0	18.0	4.0	—
荒井地区 (N=92)	9.8	20.7	48.9	19.6	1.1	—
伊保地区 (N=81)	3.7	19.8	49.4	21.0	4.9	1.2
中筋地区 (N=84)	4.8	9.5	50.0	28.6	7.1	—
曽根地区 (N=77)	2.6	9.1	55.8	24.7	7.8	—
米田地区 (N=64)	7.8	23.4	43.8	17.2	7.8	—
阿弥陀地区 (N=100)	6.0	16.0	55.0	20.0	2.0	1.0
北浜地区 (N=87)	5.7	25.3	50.6	14.9	3.4	—

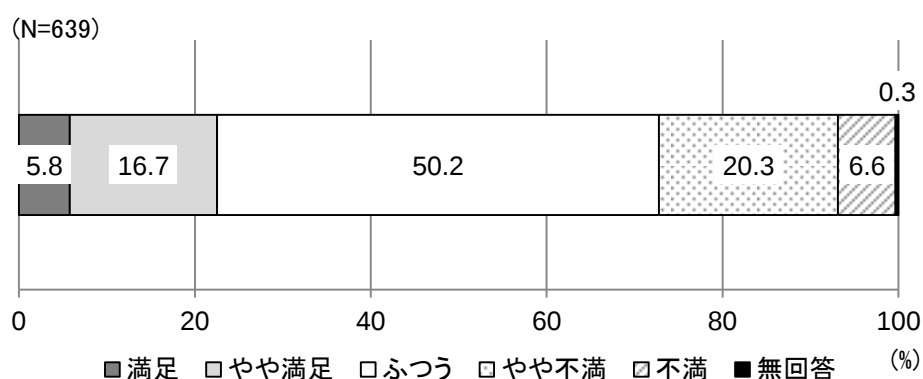
問 16 交通事故・危険物からの安心感への満足度

「満足」、「やや満足」を合わせると 22.5%である。

「不満」、「やや不満」を合わせると 26.9%である。

地区別にみると、全体と比較して「荒井地区」で「満足」、「やや満足」を合わせた割合が高い。
一方で「曽根地区」で「不満」、「やや不満」を合わせた割合が高い。

【図 26 交通事故・危険物からの安心感への満足度】



【図 27 地区別・交通事故・危険物からの安心感への満足度】

	(%)					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全体 (N=639)	5.8	16.7	50.2	20.3	6.6	0.3
高砂地区 (N=50)	4.0	20.0	48.0	20.0	8.0	—
荒井地区 (N=92)	7.6	23.9	48.9	15.2	4.3	—
伊保地区 (N=81)	6.2	18.5	54.3	16.0	3.7	1.2
中筋地区 (N=84)	3.6	13.1	50.0	26.2	7.1	—
曽根地区 (N=77)	3.9	6.5	50.6	27.3	11.7	—
米田地区 (N=64)	6.3	14.1	48.4	20.3	9.4	1.6
阿弥陀地区 (N=100)	6.0	21.0	47.0	19.0	7.0	—
北浜地区 (N=87)	8.0	16.1	54.0	19.5	2.3	—

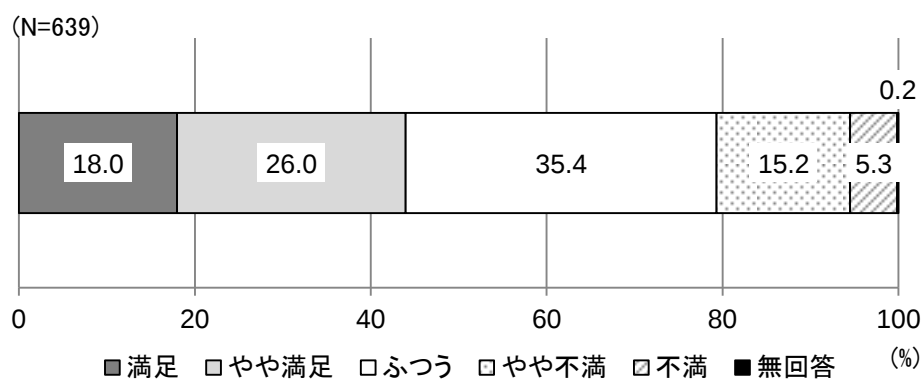
問 17 家の周りの静けさへの満足度

「満足」、「やや満足」を合わせると 44.0%である。

「不満」、「やや不満」を合わせると 20.5%である。

地区別にみると、全体と比較して「北浜地区」で「満足」、「やや満足」を合わせた割合が高い。
一方で「中筋地区」で「不満」、「やや不満」を合わせた割合が高い。

【図 28 家の周りの静けさへの満足度】



【図 29 地区別・家の周りの静けさへの満足度】

	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全体 (N=639)	18.0	26.0	35.4	15.2	5.3	0.2
高砂地区 (N=50)	16.0	26.0	40.0	14.0	4.0	—
荒井地区 (N=92)	15.2	32.6	30.4	19.6	2.2	—
伊保地区 (N=81)	17.3	27.2	38.3	14.8	2.5	—
中筋地区 (N=84)	7.1	19.0	41.7	22.6	9.5	—
曾根地区 (N=77)	18.2	19.5	39.0	18.2	5.2	—
米田地区 (N=64)	17.2	15.6	39.1	17.2	10.9	—
阿弥陀地区 (N=100)	23.0	28.0	30.0	12.0	6.0	1.0
北浜地区 (N=87)	28.7	33.3	31.0	3.4	3.4	—

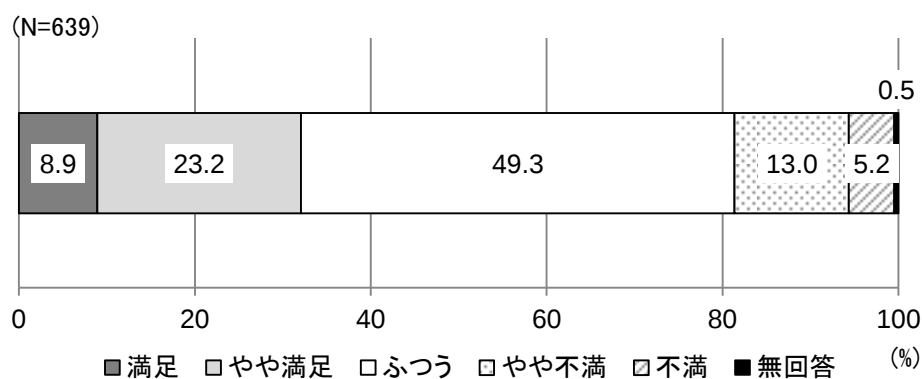
問 18 周辺のきれいさへの満足度

「満足」、「やや満足」を合わせると 32.1%である。

「不満」、「やや不満」を合わせると 18.2%である。

地区別にみると、全体と比較して「北浜地区」で「満足」、「やや満足」を合わせた割合が高い。
一方で「中筋地区」で「不満」、「やや不満」を合わせた割合が高い。

【図 30 周辺のきれいさへの満足度】



【図 31 地区別・周辺のきれいさへの満足度】

(%)

	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全体 (N=639)	8.9	23.2	49.3	13.0	5.2	0.5
高砂地区 (N=50)	14.0	16.0	48.0	16.0	6.0	—
荒井地区 (N=92)	10.9	20.7	52.2	14.1	2.2	—
伊保地区 (N=81)	6.2	30.9	46.9	13.6	2.5	—
中筋地区 (N=84)	1.2	17.9	54.8	14.3	10.7	1.2
曾根地区 (N=77)	7.8	18.2	50.6	14.3	9.1	—
米田地区 (N=64)	9.4	18.8	51.6	12.5	7.8	—
阿弥陀地区 (N=100)	10.0	26.0	48.0	12.0	3.0	1.0
北浜地区 (N=87)	13.8	31.0	43.7	8.0	2.3	1.1

問 19 公園や緑の豊かさへの満足度

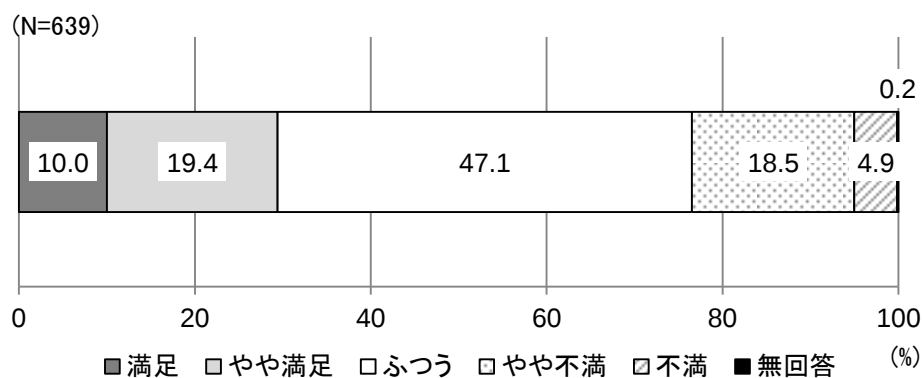
「満足」、「やや満足」を合わせると 29.4%である。

「不満」、「やや不満」を合わせると 23.4%である。

地区別にみると、全体と比較して「北浜地区」、「阿弥陀地区」で「満足」、「やや満足」を合わせた割合が高い。

一方で「米田地区」で「不満」、「やや不満」を合わせた割合が高い。

【図 32 公園や緑の豊かさへの満足度】



【図 33 地区別・公園や緑の豊かさへの満足度】

(%)

	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全体(N=639)	10.0	19.4	47.1	18.5	4.9	0.2
高砂地区(N=50)	10.0	22.0	48.0	16.0	4.0	—
荒井地区(N=92)	7.6	13.0	54.3	20.7	4.3	—
伊保地区(N=81)	6.2	16.0	49.4	23.5	4.9	—
中筋地区(N=84)	2.4	14.3	54.8	21.4	7.1	—
曾根地区(N=77)	7.8	15.6	53.2	15.6	7.8	—
米田地区(N=64)	10.9	17.2	42.2	25.0	4.7	—
阿弥陀地区(N=100)	16.0	28.0	36.0	13.0	6.0	1.0
北浜地区(N=87)	18.4	27.6	41.4	12.6	—	—

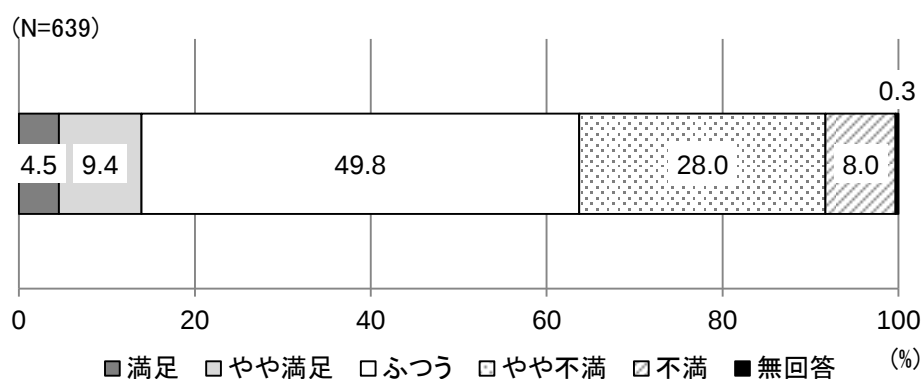
問 20 スポーツ・レクリエーション、文化活動に親しむ環境への満足度

「満足」、「やや満足」を合わせると 13.9%である。

「不満」、「やや不満」を合わせると 36.0%である。

地区別にみると、全体と比較して「米田地区」で「満足」、「やや満足」を合わせた割合が高い。
一方で「荒井地区」、「高砂地区」で「不満」、「やや不満」を合わせた割合が高い。

【図 34 スポーツ・レクリエーション、文化活動に親しむ環境への満足度】



【図 35 地区別・スポーツ・レクリエーション、文化活動に親しむ環境への満足度】

	(%)					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全体 (N=639)	4.5	9.4	49.8	28.0	8.0	0.3
高砂地区 (N=50)	6.0	8.0	44.0	36.0	6.0	—
荒井地区 (N=92)	6.5	6.5	44.6	35.9	6.5	—
伊保地区 (N=81)	1.2	11.1	59.3	19.8	8.6	—
中筋地区 (N=84)	3.6	9.5	52.4	25.0	9.5	—
曾根地区 (N=77)	3.9	5.2	53.2	27.3	10.4	—
米田地区 (N=64)	7.8	17.2	48.4	18.8	7.8	—
阿弥陀地区 (N=100)	4.0	8.0	52.0	25.0	10.0	1.0
北浜地区 (N=87)	4.6	10.3	43.7	35.6	4.6	1.1

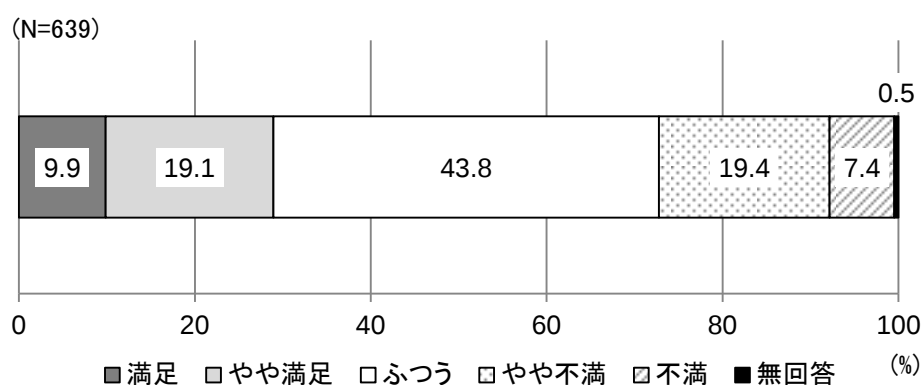
問 21 病院・医院などへの行きやすさへの満足度

「満足」、「やや満足」を合わせると 29.0%である。

「不満」、「やや不満」を合わせると 26.8%である。

地区別にみると、全体と比較して「荒井地区」で「満足」、「やや満足」を合わせた割合が高い。
一方で「北浜地区」で「不満」、「やや不満」を合わせた割合が高い。

【図 36 病院・医院などへの行きやすさ満足度】



【図 37 地区別・病院・医院などへの行きやすさ満足度】

	(%)					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全体(N=639)	9.9	19.1	43.8	19.4	7.4	0.5
高砂地区(N=50)	14.0	18.0	48.0	14.0	6.0	—
荒井地区(N=92)	26.1	29.3	35.9	7.6	1.1	—
伊保地区(N=81)	9.9	23.5	43.2	18.5	4.9	—
中筋地区(N=84)	8.3	26.2	40.5	14.3	8.3	2.4
曾根地区(N=77)	5.2	9.1	49.4	28.6	7.8	—
米田地区(N=64)	10.9	26.6	53.1	3.1	6.3	—
阿弥陀地区(N=100)	3.0	13.0	47.0	23.0	14.0	—
北浜地区(N=87)	3.4	6.9	39.1	40.2	9.2	1.1

問 22 買い物の便利さへの満足度

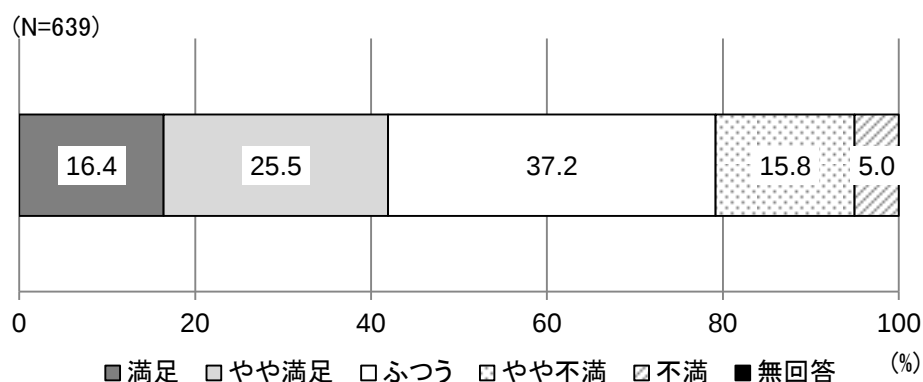
「満足」、「やや満足」を合わせると 41.9%である。

「不満」、「やや不満」を合わせると 20.8%である。

地区別にみると、全体と比較して「米田地区」、「荒井地区」、「伊保地区」で「満足」、「やや満足」を合わせた割合が高い。

一方で「高砂地区」、「北浜地区」で「不満」、「やや不満」を合わせた割合が高い。

【図 38 買い物の便利さへの満足度】



【図 39 地区別・買い物の便利さへの満足度】

(%)

	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全体(N=639)	16.4	25.5	37.2	15.8	5.0	—
高砂地区(N=50)	10.0	10.0	38.0	34.0	8.0	—
荒井地区(N=92)	34.8	30.4	27.2	6.5	1.1	—
伊保地区(N=81)	23.5	34.6	33.3	6.2	2.5	—
中筋地区(N=84)	6.0	23.8	51.2	14.3	4.8	—
曾根地区(N=77)	9.1	24.7	46.8	13.0	6.5	—
米田地区(N=64)	29.7	37.5	26.6	3.1	3.1	—
阿弥陀地区(N=100)	12.0	20.0	39.0	20.0	9.0	—
北浜地区(N=87)	6.9	18.4	36.8	32.2	5.7	—

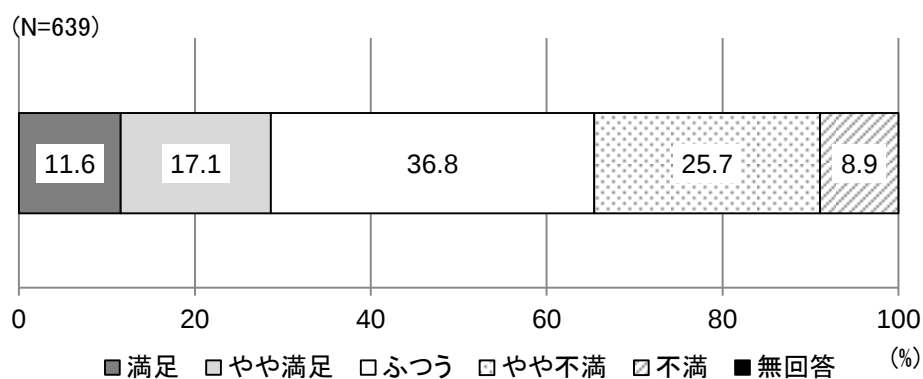
問 23 交通機関の利便性への満足度

「満足」、「やや満足」を合わせると 28.7%である。

「不満」、「やや不満」を合わせると 34.6%である。

地区別にみると、全体と比較して「荒井地区」で「満足」、「やや満足」を合わせた割合が高い。
一方で「北浜地区」で「不満」、「やや不満」を合わせた割合が高い。

【図 40 交通機関の利便性への満足度】



【図 41 地区別・交通機関の利便性への満足度】

(%)

	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全体 (N=639)	11.6	17.1	36.8	25.7	8.9	—
高砂地区 (N=50)	16.0	14.0	34.0	24.0	12.0	—
荒井地区 (N=92)	20.7	21.7	42.4	9.8	5.4	—
伊保地区 (N=81)	9.9	17.3	44.4	23.5	4.9	—
中筋地区 (N=84)	7.1	14.3	38.1	28.6	11.9	—
曾根地区 (N=77)	10.4	18.2	48.1	15.6	7.8	—
米田地区 (N=64)	15.6	21.9	26.6	26.6	9.4	—
阿弥陀地区 (N=100)	8.0	16.0	33.0	33.0	10.0	—
北浜地区 (N=87)	8.0	13.8	25.3	42.5	10.3	—

問 24 車を利用する上での道路事情への満足度

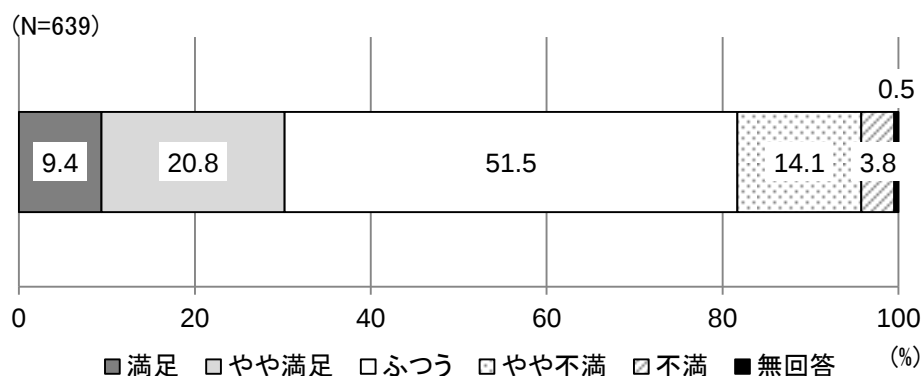
「満足」、「やや満足」を合わせると 30.2%である。

「不満」、「やや不満」を合わせると 17.9%である。

地区別にみると、全体と比較して「荒井地区」、「阿弥陀地区」で「満足」、「やや満足」を合わせた割合が高い。

一方で「不満」、「やや不満」を合わせた割合についてはばらつきが少ない。

【図 42 車を利用する上での道路事情への満足度】



【図 43 地区別・車を利用する上での道路事情への満足度】

(%)

	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
全体(N=639)	9.4	20.8	51.5	14.1	3.8	0.5
高砂地区(N=50)	4.0	14.0	62.0	16.0	4.0	—
荒井地区(N=92)	15.2	22.8	42.4	18.5	1.1	—
伊保地区(N=81)	8.6	27.2	45.7	17.3	1.2	—
中筋地区(N=84)	9.5	19.0	54.8	9.5	6.0	1.2
曾根地区(N=77)	9.1	13.0	58.4	10.4	9.1	—
米田地区(N=64)	10.9	17.2	57.8	10.9	3.1	—
阿弥陀地区(N=100)	7.0	30.0	44.0	15.0	4.0	—
北浜地区(N=87)	9.2	17.2	56.3	12.6	2.3	2.3

問 25 あなたのお住まいの地域は、子どもを育てることに適している環境だと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

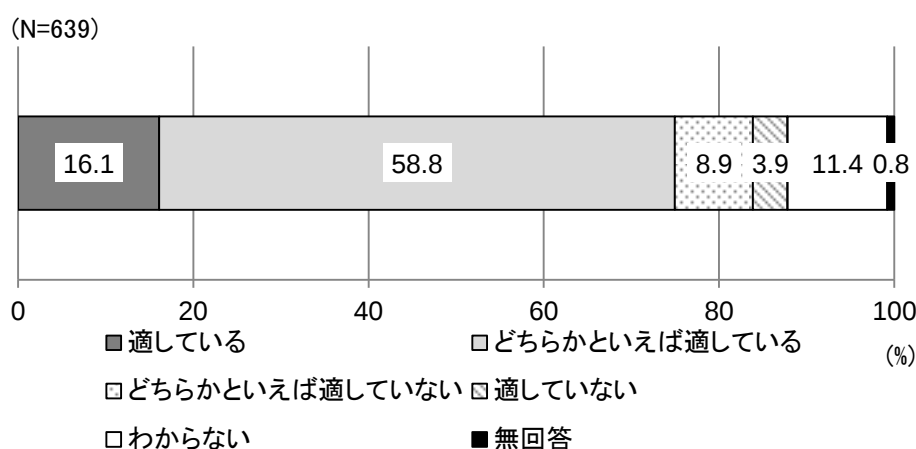
「どちらかといえば適している」が58.8%あり、「適している」、「どちらかといえば適している」を合わせると74.9%である。

「適していない」、「どちらかといえば適していない」を合わせると12.8%である。

地区別にみると、全体と比較して「荒井地区」、「北浜地区」で「適している」、「どちらかといえば適している」を合わせた割合が高い。

一方で、「高砂地区」で「適していない」、「どちらかといえば適していない」を合わせた割合が高い。

【図 44 子育て環境の評価】



【図 45 地区別・子育て環境の評価】

(%)

	適している	どちらかとい えば適 している	どちらかとい えば適 していない	適してい ない	わからな い	無回答
全体(N=639)	16.1	58.8	8.9	3.9	11.4	0.8
高砂地区(N=50)	22.0	46.0	14.0	8.0	8.0	2.0
荒井地区(N=92)	22.8	62.0	3.3	1.1	9.8	1.1
伊保地区(N=81)	13.6	60.5	8.6	1.2	14.8	1.2
中筋地区(N=84)	4.8	64.3	7.1	7.1	15.5	1.2
曾根地区(N=77)	10.4	58.4	14.3	5.2	11.7	—
米田地区(N=64)	14.1	57.8	9.4	6.3	12.5	—
阿弥陀地区(N=100)	15.0	60.0	10.0	3.0	12.0	—
北浜地区(N=87)	27.6	56.3	5.7	2.3	6.9	1.1

問 26 あなたのお住まいの地域は、高齢者が暮らしやすい環境だと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

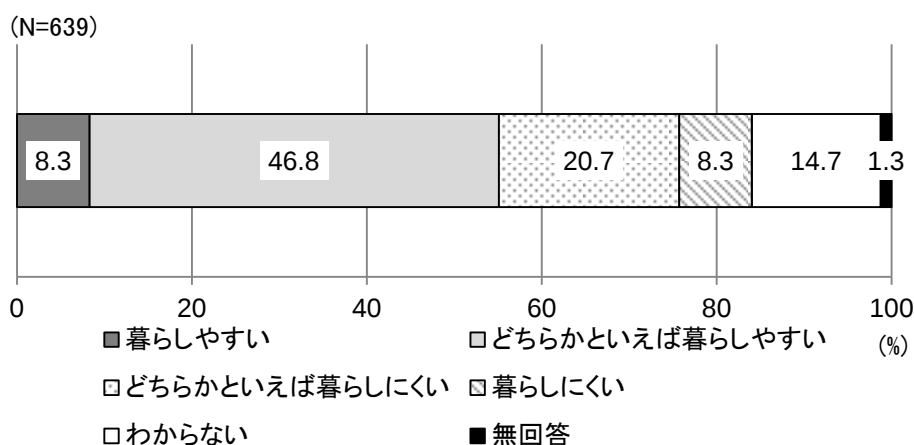
「どちらかといえば暮らしやすい」が 46.8%あり、「暮らしやすい」、「どちらかといえば暮らしやすい」を合わせると半数を超える。

「暮らしにくい」、「どちらかといえば暮らしにくい」を合わせると 29.0%である。

地区別にみると、全体と比較して、「米田地区」、「伊保地区」、「荒井地区」で「暮らしやすい」、「どちらかといえば暮らしやすい」を合わせた割合が高い。

一方で、「高砂地区」、「中筋地区」、「阿弥陀地区」で「暮らしにくい」、「どちらかといえば暮らしにくい」を合わせた割合が高い。

【図 46 高齢者の暮らしやすさ評価】



【図 47 地区別・高齢者の暮らしやすさ評価】

(%)

	暮らしやすい	どちらかとい えば暮らしやすい	どちらかとい えば暮らしにくい	暮らしにくい	わからな い	無回答
全体(N=639)	8.3	46.8	20.7	8.3	14.7	1.3
高砂地区(N=50)	18.0	30.0	22.0	20.0	8.0	2.0
荒井地区(N=92)	13.0	52.2	17.4	—	16.3	1.1
伊保地区(N=81)	6.2	59.3	12.3	4.9	13.6	3.7
中筋地区(N=84)	1.2	40.5	26.2	11.9	19.0	1.2
曾根地区(N=77)	7.8	44.2	18.2	11.7	18.2	—
米田地区(N=64)	6.3	59.4	15.6	6.3	12.5	—
阿弥陀地区(N=100)	8.0	41.0	28.0	9.0	13.0	1.0
北浜地区(N=87)	9.2	44.8	23.0	8.0	13.8	1.1

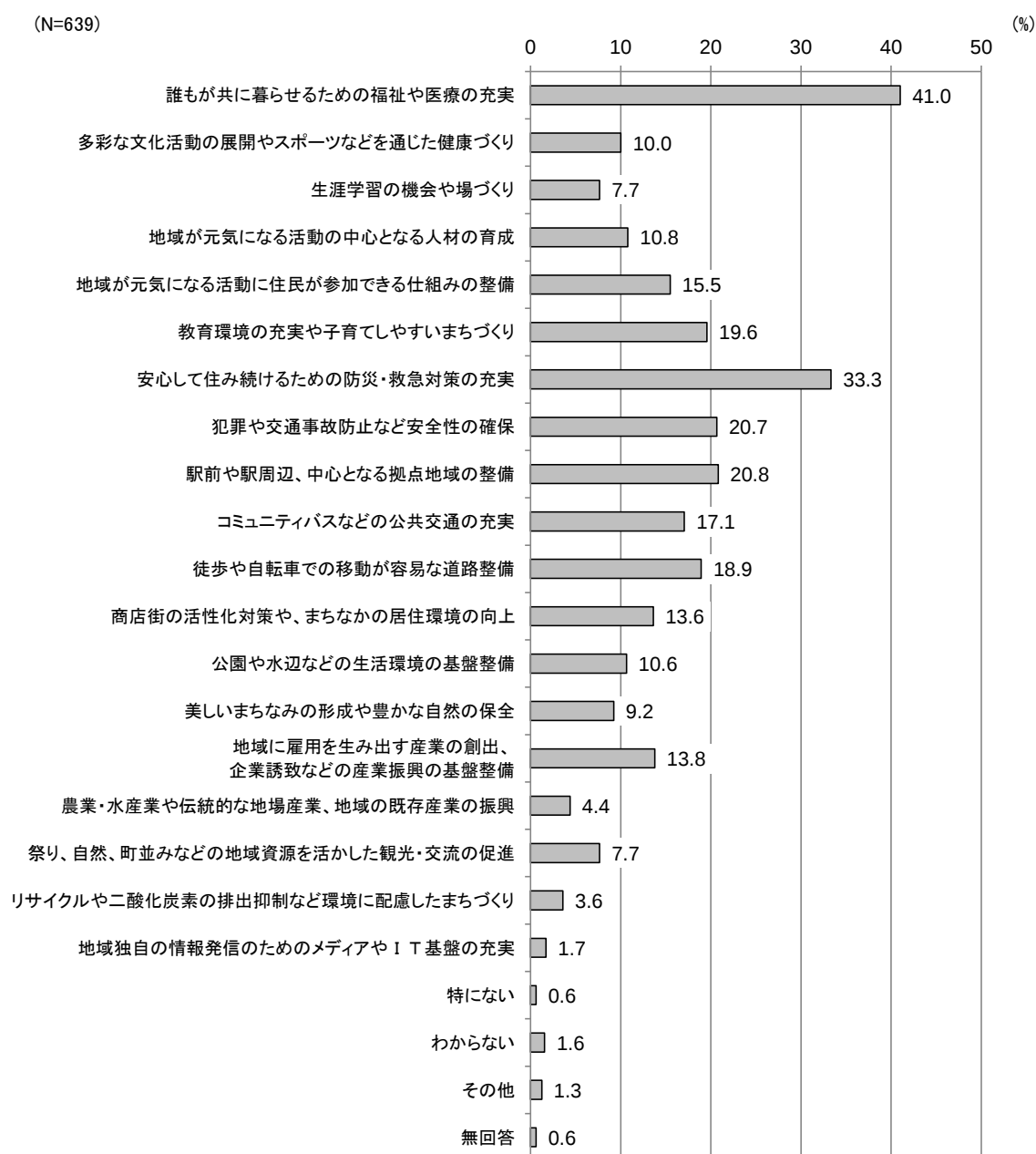
問 27 あなたのお住まいの地域が活力を取り戻したり、更に活性化したりするために、特に期待する行政の政策はどのようなものですか。次の中から 3 つまで選んで ○をつけてください。

最も多いのが、「誰もが共に暮らせるための福祉や医療の充実」で 41.0%である。

続いて、「安心して住み続けるための防災・救急対策の充実」が 33.3%で多い。

地区別にみると、全体と比較して「中筋地区」、「高砂地区」で「駅前や駅周辺、中心となる拠点地域の整備」が多く、「高砂地区」では「商店街の活性化対策や、まちなかの居住環境の向上」も多い。

【図 48 地域活性化のため期待する行政政策】



【図 49 地区別・地域活性化のため期待する行政政策】

	福祉 社も やが 医療 の事 を充 実さ せる ため の	ス ポ ー ツ な ど を 通 じ た 健 康 づ く り	生 涯 学 習 の 機 会 や 場 づ く り	中 心 地 域 と な る 人 材 の 育 成 の	地 域 が 元 氣 に な る 仕 組 み に な る 整 備 に 住 民 が 参 加	子 育 環 境 の 充 実 や し や す い ま ち づ く り	防 災 ・ 救 急 対 策 の 充 実 た め の	安 全 性 の 確 保	犯 罪 や 交 通 事 故 防 止 な ど	拠 点 地 域 の 周 辺 、 中 心 と な る	公 共 交 通 の 充 実 な ど	容 易 な 道 路 整 備	ま ち な か の 居 住 環 境 の 向 上	生 活 環 境 の 基 盤 整 備	豊 か い 自 然 の 全 面 的 な 形 成 や	産 業 振 興 の 基 盤 整 備	地 場 産 業 、 地 域 の 既 存 産 業 の 振 興	資 源 を 活 か し た 観 光 交 流 の 促 進	ど り 環 境 に 配 慮 し た ま ち づ く り	メ デ ィ ア や I T 基 盤 の 充 実	特 に な い	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
全体(N=639)	41.0	10.0	7.7	10.8	15.5	19.6	33.3	20.7	20.8	17.1	18.9	13.6	10.6	9.2	13.8	4.4	7.7	3.6	1.7	0.6	1.6	1.3	0.6	
高砂地区(N=50)	50.0	8.0	8.0	10.0	12.0	16.0	24.0	16.0	34.0	10.0	12.0	48.0	4.0	8.0	6.0	6.0	6.0	2.0	0.0	0.0	2.0	0.0	4.0	
荒井地区(N=92)	32.6	10.9	7.6	12.0	17.4	21.7	33.7	23.9	16.3	12.0	17.4	21.7	15.2	5.4	16.3	2.2	9.8	0.0	4.3	1.1	2.2	0.0	0.0	
伊保地区(N=81)	35.8	8.6	9.9	8.6	12.3	17.3	38.3	21.0	12.3	13.6	17.3	8.6	17.3	12.3	19.8	3.7	13.6	8.6	2.5	0.0	2.5	3.7	1.2	
中筋地区(N=84)	48.8	7.1	4.8	9.5	13.1	19.0	29.8	17.9	34.5	23.8	22.6	10.7	7.1	2.4	8.3	4.8	7.1	1.2	0.0	1.2	3.6	0.0	0.0	
菅根地区(N=77)	44.2	11.7	5.2	2.6	13.0	16.9	36.4	27.3	18.2	14.3	23.4	15.6	3.9	9.1	14.3	5.2	7.8	5.2	3.9	1.3	0.0	0.0	1.3	
米田地区(N=64)	35.9	14.1	10.9	7.8	14.1	21.9	37.5	21.9	14.1	20.3	25.0	9.4	17.2	12.5	10.9	0.0	10.9	4.7	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	
阿弥陀地区(N=100)	39.0	9.0	6.0	16.0	13.0	23.0	34.0	19.0	22.0	19.0	14.0	6.0	13.0	16.0	15.0	9.0	4.0	5.0	1.0	1.0	0.0	1.0	0.0	
北浜地区(N=87)	46.0	11.5	9.2	17.2	27.6	17.2	29.9	17.2	19.5	20.7	18.4	3.4	5.7	8.0	14.9	3.4	3.4	1.1	1.1	0.0	2.3	2.3	0.0	

問 28 あなたのお住まいの地域の人たちは、つながりがあると感じますか。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

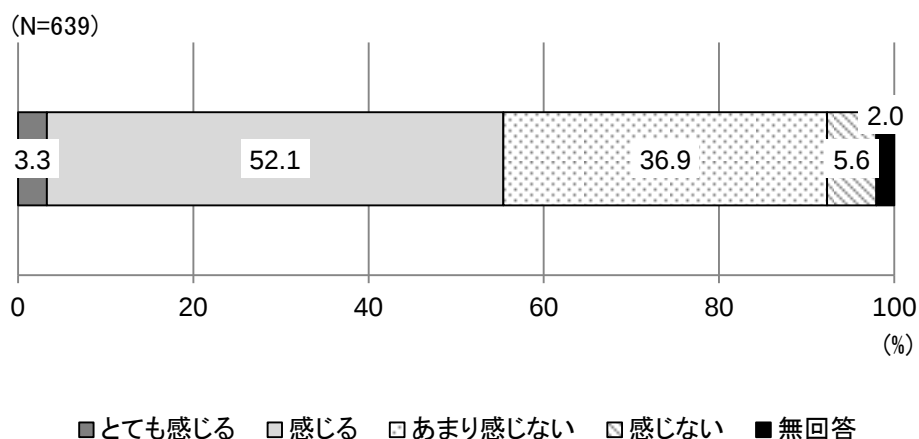
「感じる」が半数を超えている。

「感じない」、「あまり感じない」を合わせると 42.5%であり、「とても感じる」、「感じる」を合わせた割合の方が多い。

地区別にみると、全体と比較して「北浜地区」で「とても感じる」、「感じる」を合わせた割合が高い。

一方で、「中筋地区」で「感じない」、「あまり感じない」を合わせた割合が高い。

【図 50 地域のつながりの有無】



【図 51 地区別・地域のつながりの有無】

(%)

	とても感じる	感じる	あまり感じない	感じない	無回答
全体(N=639)	3.3	52.1	36.9	5.6	2.0
高砂地区(N=50)	6.0	50.0	32.0	6.0	6.0
荒井地区(N=92)	4.3	54.3	39.1	1.1	1.1
伊保地区(N=81)	6.2	54.3	33.3	2.5	3.7
中筋地区(N=84)	—	34.5	54.8	9.5	1.2
曾根地区(N=77)	5.2	53.2	32.5	6.5	2.6
米田地区(N=64)	1.6	40.6	45.3	10.9	1.6
阿弥陀地区(N=100)	1.0	58.0	35.0	5.0	1.0
北浜地区(N=87)	3.4	66.7	23.0	5.7	1.1

問 29 つながりを感じるには、どのような取組が必要だと思いますか。（自由記載）

有効回答 639 件に対し、255 件の意見を得た。主な意見を大きく分類すると、「場づくり」、「自治会等の在り方」、「あいさつ、声掛け」、「多世代交流」、「難しい、不要」である。それぞれ代表的な意見を示す。

▼場づくり

夏祭りや秋祭り、町民運動会など地域の行事を開催し、参加を呼びかけること。

多様な祭り、遊び等で日常的に集まれる楽しいグループづくり。

気軽に参加できるイベントなど顔見知りになるような取り組み。

誰もが気軽に行ける場所が身近にあれば良い。

人が集められる場所づくり。

地域での活動拠点の整備。

活動の場づくり。

▼自治会等の在り方

自治会、子供会活動への参加、活性化。

自治会単位で行う行事（旅行やカルチャースクールなど）への援助。

順番制などで住民全員が交代で自治会の役員等を行う（全員参加型自治会）。

▼あいさつ、声掛け

お互いのあいさつ。

ちょっとした挨拶を欠かさず、そのことを子供に伝えること。

ご近所同士の声掛け、気遣い。

▼多世代交流

子供や若者、高齢者のふれあい、交流。

地域単位で3世代交流のイベント等をする。

▼難しい、不要

非常に難しい。

今の時代は無理だろう。

特につなかりを求めなくてよいのではないかな。

つながりを感じなくてもよい。昔ながらのつながりが煩わしく思っている。

▼他

市と住民のコミュニケーション。

行政による支援。

NPO ボランティアなどの情報提供。

若者が活躍しやすい雰囲気づくり。

4. 人口減少

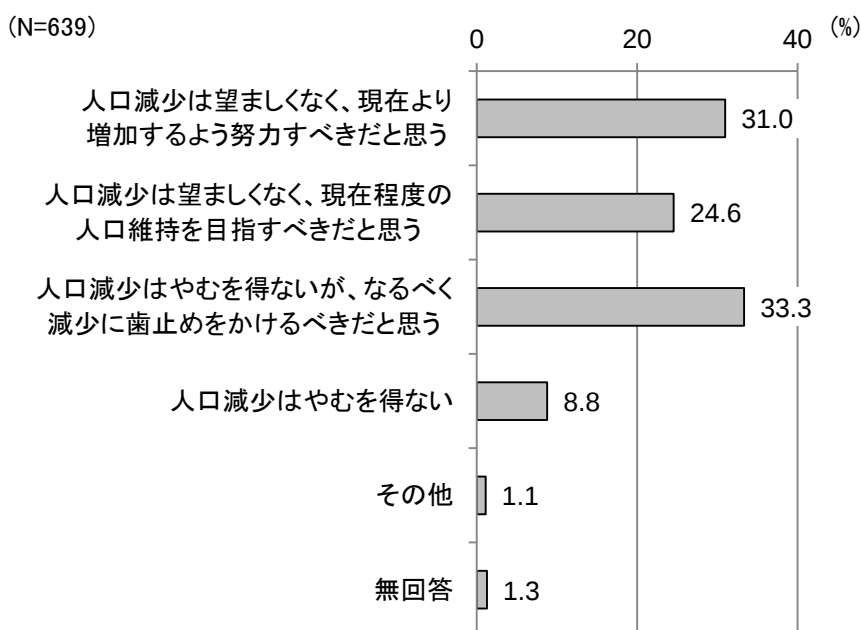
問 30 人口が減少していくことについてあなたの考えに最も近いものを1つだけ選んでください。

最も多いのが、「人口減少はやむを得ないが、なるべく減少に歯止めをかけるべきだと思う」で33.3%である。

続いて、「人口減少は望ましくなく、現在より増加するよう努力すべきだと思う」も同程度で多い。

地区別にみると、全体と比較して「阿弥陀地区」で「人口減少はやむを得ないが、なるべく減少に歯止めをかけるべきだと思う」が多く、「曾根地区」で「人口減少はやむを得ない」が多い。

【図 52 人口減少についての考え】



【図 53 地区別・人口減少についての考え】

	人口減少は望ましくなく、 現在より増加するよう 努力すべきだと思う	人口減少は望ましくなく、 現在程度の人口維持を 目指すべきだと思う	人口減少はやむを得ないが、 なるべく減少に歯止めを かけるべきだと思う	人口減少はやむを得ない	その他	無回答
全体 (N=639)	31.0	24.6	33.3	8.8	1.1	1.3
高砂地区 (N=50)	38.0	22.0	36.0	2.0	-	2.0
荒井地区 (N=92)	34.8	23.9	30.4	10.9	-	-
伊保地区 (N=81)	32.1	25.9	34.6	3.7	-	3.7
中筋地区 (N=84)	35.7	26.2	25.0	10.7	2.4	-
曾根地区 (N=77)	27.3	24.7	27.3	18.2	-	2.6
米田地区 (N=64)	25.0	23.4	39.1	10.9	1.6	-
阿弥陀地区 (N=100)	23.0	22.0	42.0	8.0	4.0	1.0
北浜地区 (N=87)	35.6	27.6	33.3	2.3	-	1.1

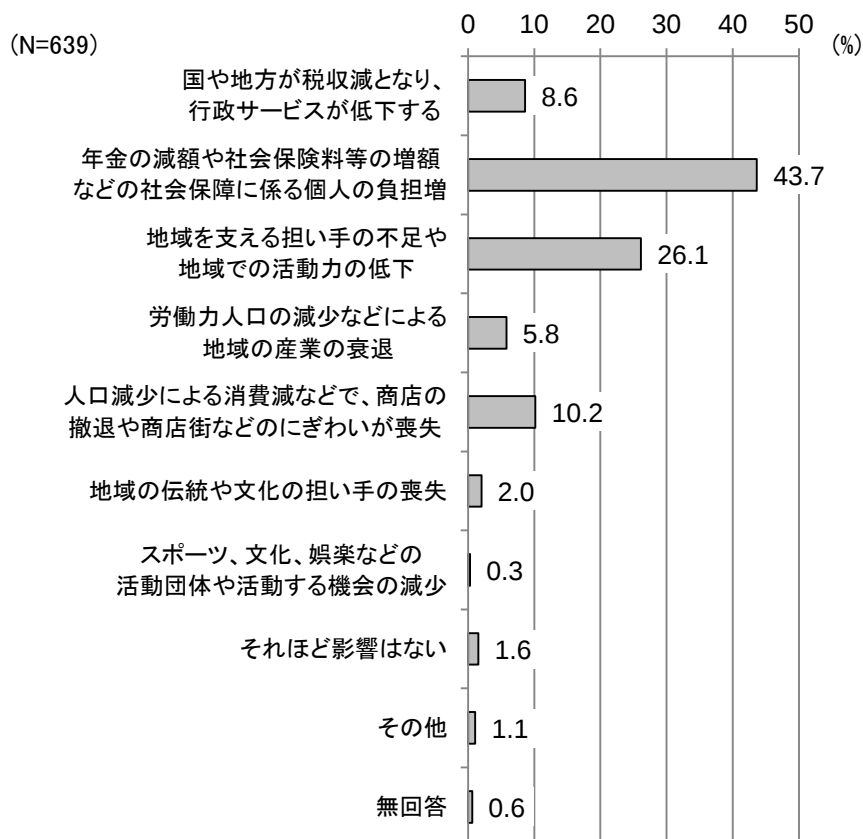
問 31 人口減少が進行していった場合に生じる高砂市全体への影響について、次のうちからあなたが特に影響が大きいと考えることを1つだけ選んで○をつけてください。

最も多いのが「年金の減額や社会保険料や医療費の増額などの社会保障に係る個人の負担増」で43.7%である。

続いて、「地域を支える担い手の不足や地域での活動力の低下」が26.1%で多い。

地区別にみると、「年金の減額や社会保険料や医療費の増額などの社会保障に係る個人の負担増」の回答の割合にばらつきがみられる。

【図 54 人口減少が市に与える影響】



【図 55 地区別・人口減少が市に与える影響】

	低行税 下政収 すサ減 ると スリ が、	個社 人會 の保 障 担に 増係 る	低域い 下で手 ののを 活不支 動足え 力やる の地担	域少 のな働 産ど力 業に人 のよ口 衰るの 退地減	わ店商 い街店 がなの 喪ど撤 失の退 にや ぎ商	失化地 の域の 担の伝 手統の のや 喪文	す活ス る動ボ 機団― 会体ツ のやな 減活ど 少動の	なそれ いほど 影響は	その他	無 回 答
全体(N=639)	8.6	43.7	26.1	5.8	10.2	2.0	0.3	1.6	1.1	0.6
高砂地区(N=50)	2.0	42.0	28.0	4.0	20.0	—	—	—	2.0	2.0
荒井地区(N=92)	6.5	38.0	25.0	6.5	14.1	4.3	—	4.3	1.1	—
伊保地区(N=81)	11.1	33.3	29.6	8.6	9.9	2.5	—	—	2.5	2.5
中筋地区(N=84)	16.7	41.7	21.4	4.8	8.3	2.4	1.2	—	2.4	1.2
菅根地区(N=77)	15.6	46.8	16.9	5.2	9.1	1.3	1.3	3.9	—	—
米田地区(N=64)	9.4	39.1	28.1	4.7	17.2	—	—	1.6	—	—
阿弥陀地区(N=100)	4.0	52.0	33.0	4.0	4.0	1.0	—	1.0	1.0	—
北浜地区(N=87)	3.4	52.9	27.6	6.9	5.7	3.4	—	—	—	—

問 32 あなたのお住いの地域において、人口の減少や少子化、また、高齢化により困っていることはありますか。または、これから先どのような不安を感じますか。
困っていることや不安に感じることはありませんでしたらご記入ください。(自由記載)

有効回答 639 件に対し、267 件の意見を得た。主な意見を大きく分類すると、「防犯、防災」、「地域活動」、「生活への不安」である。それぞれ代表的な意見を示す。

▼防犯、防災

放置された空家が増加しており、火災などが心配である。

施設や設備も老朽化していくため、放置状態になり景観維持や災害が心配である。

災害時の対応、避難などに不安を感じる。

消防団員不足による防災への不安を感じる。

▼地域活動

高齢化により、地域の活動に参加する人が減少する。

子供や若い世代が減少することで自治会運営が行き詰まる。

地域内の伝統文化(祭礼参加)の担い手と継承者の育成が出来ない。

少子化による地域の活力が低下してしまう。

世話役が高齢化し活動が停滞しがちになる。次世代への移行が課題だ。

▼生活への不安

老老介護が増える。

高齢化により介護施設への入所が難しくなる。

介護サービスなど必要なサービスが受けられなくなるのではないかと不安。

移動手段がなくなる不安。

年金減少や医療費の負担増。

年金生活で生活ができるのか心配である。

近所付き合いが減って孤独になる不安。

高齢化により助け合いが行き届かなくなる。

高齢者の孤独死。

近くにお店やコンビニもなく、一人暮らしの高齢者は買い物が大変そう。

▼他

プライバシー等を考えると高齢者への配慮をどこまでしていいのか分からない。

若者が独立すると他市へ移住してしまう。

未婚者が多い。

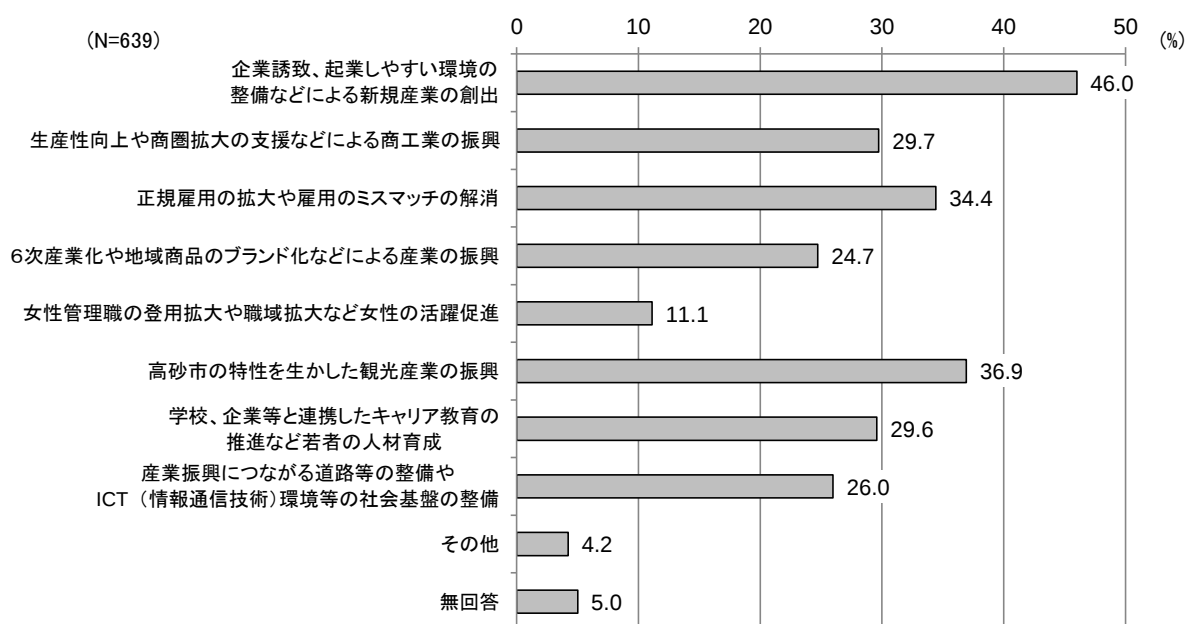
5. 人口減少対策の取組

問 33 高砂市の経済活性化を行う際に、どのような取組に力を入れるべきと考えますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

最も多いのは「企業誘致、起業しやすい環境の整備などによる新規産業の創出」で46.0%である。続いて、「高砂市の特性を生かした観光産業の振興」と「正規雇用の拡大や雇用のミスマッチ(求人と求職のニーズが一致しないこと)の解消」が36.9%で多い。

地区別にみると、全体と比較して「高砂地区」で「生産性向上や商圈拡大の支援などによる商工業の振興」が多く、「米田地区」で「高砂市の特性を生かした観光産業の振興」が多い。

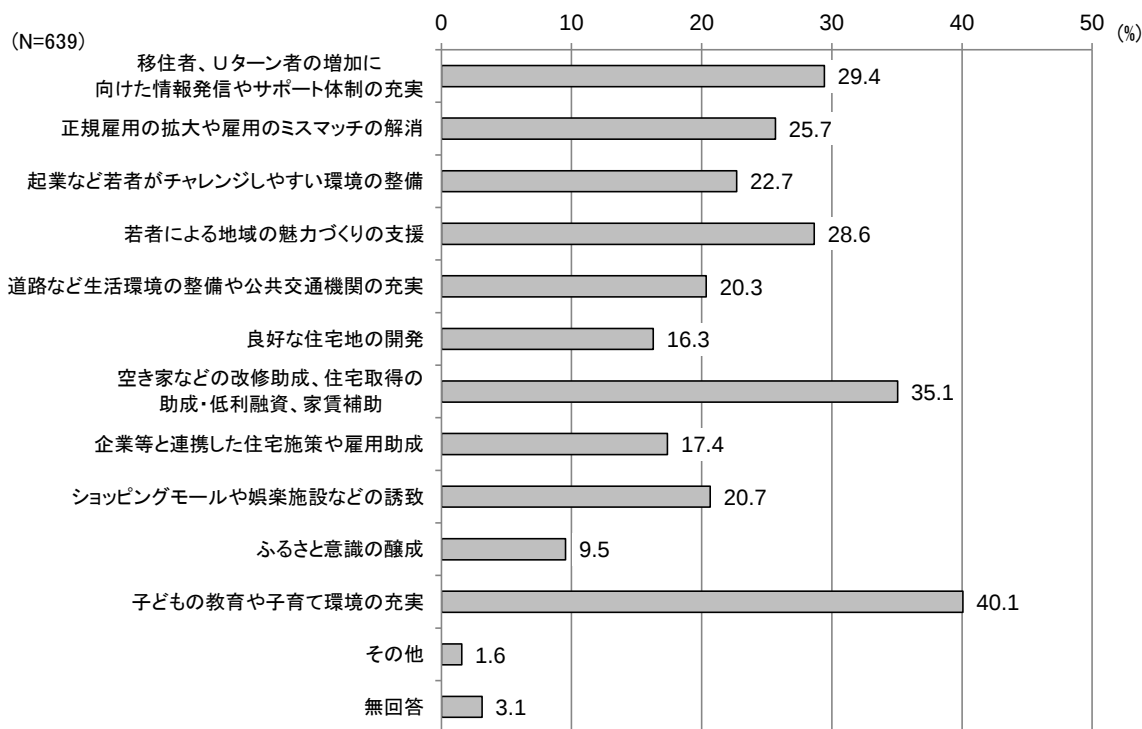
【図 56 経済活性化のために力を入れるべきこと】



【図 57 地区別・経済活性化のために力を入れるべきこと】

	規整や企 業備す業 業ない誘 のど環 創に境、 出よる 新し	よ拡生 る大産 商の性 工支向 業援上 のなや 振興に 園	の雇正 解用規 消の雇 ミ用 スの マ拡 ッ大 チや	振な商6 興ど品次 にの産 よブ業 るラ化 産ンや 業ド地 の化域	ど拡女 女女性 性や管 の職理 活域職 躍拡 促大登 進な用	振か高 興し砂 た市 観の 光特 産性 業を の生	の育携学 人のし校、 材推た、 育成な 成なり等 若アと 者教連	会Iる産 基O道業 盤T路振 の環興 境等 備等 の備な 社やが	そ 他	無 回 答
全体(N=639)	46.0	29.7	34.4	24.7	11.1	36.9	29.6	26.0	4.2	5.0
高砂地区(N=50)	50.0	54.0	24.0	20.0	10.0	34.0	30.0	22.0	4.0	8.0
荒井地区(N=92)	43.5	31.5	35.9	19.6	15.2	27.2	37.0	29.3	5.4	3.3
伊保地区(N=81)	43.2	29.6	28.4	30.9	11.1	43.2	39.5	19.8	4.9	2.5
中筋地区(N=84)	40.5	33.3	36.9	23.8	9.5	33.3	26.2	19.0	4.8	6.0
菅根地区(N=77)	49.4	19.5	36.4	19.5	9.1	36.4	23.4	29.9	3.9	3.9
米田地区(N=64)	45.3	32.8	37.5	21.9	9.4	48.4	29.7	21.9	3.1	4.7
阿弥陀地区(N=100)	48.0	19.0	35.0	35.0	12.0	44.0	28.0	26.0	5.0	6.0
北浜地区(N=87)	49.4	28.7	37.9	23.0	11.5	29.9	23.0	35.6	2.3	6.9

最も多いのは「子どもの教育や子育て環境の充実」で40.1%である。
 続いて、「空き家などの改修助成、住宅取得の助成・低利融資、家賃補助」、「移住者、Uターン者の増加に向けた情報発信やサポート体制の充実」、「若者による地域の魅力づくりの支援」の順に多い。
 地区別にみると、全体と比較して「高砂地区」で「ショッピングモールや娯楽施設などの誘致」が多い。



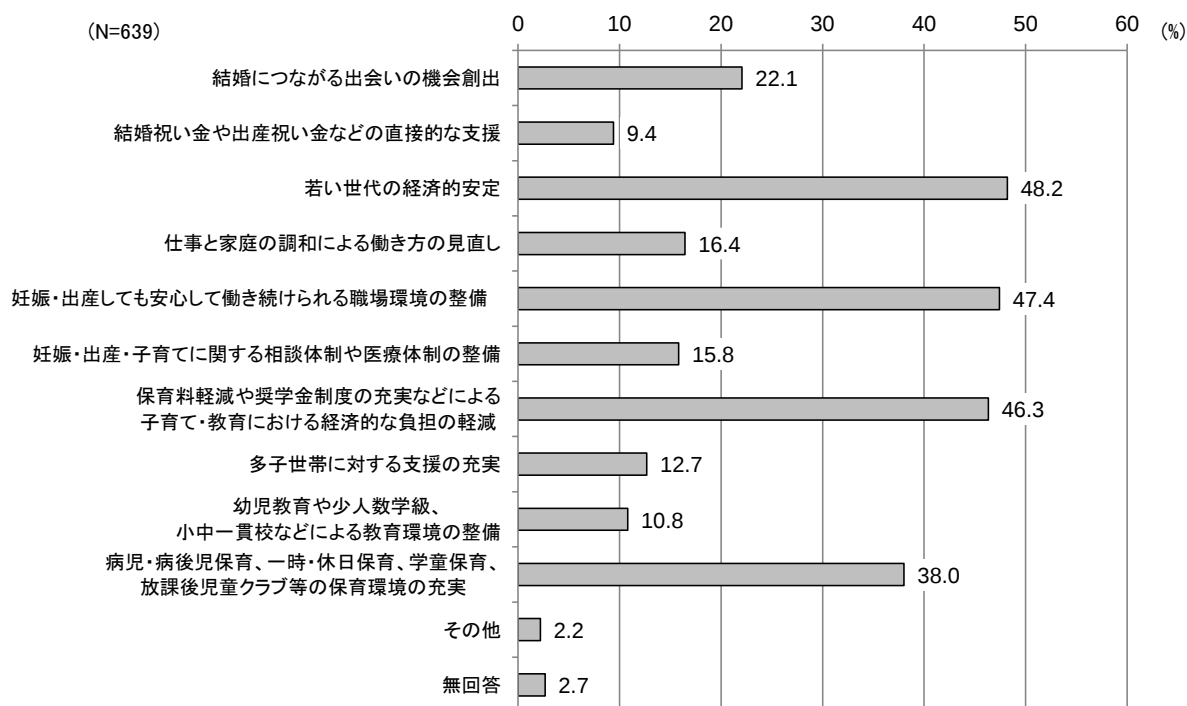
															(%)
	の発 の増 の加 にサ ボト ー制 体情 報者	移住者、 Uター ン情報者	正規雇用の 拡大や 雇用のマ ツチ	起業など若者が チャレンジしやすい 環境の整備	魅力づくりの地域への 支援	道路など生活環境 の整備や公共交通 機関の充実	良好な住宅地の開 発	空き家などの改修助 成・住宅取得の補助 低利融資、家賃 補助	企業等と連携した 住宅施策や雇用助 成	ショッピングモ ールや娯楽施設など の誘致	ふるさと意識の醸 成	子どもの教育や子 育て環境の充実	その他	無回 答	
全体 (N=639)	29.4	25.7	22.7	28.6	20.3	16.3	35.1	17.4	20.7	9.5	40.1	1.6	3.1		
高砂地区 (N=50)	30.0	12.0	26.0	32.0	24.0	18.0	32.0	10.0	40.0	2.0	34.0	2.0	4.0		
荒井地区 (N=92)	28.3	28.3	18.5	31.5	18.5	17.4	31.5	20.7	16.3	12.0	44.6	3.3	2.2		
伊保地区 (N=81)	30.9	22.2	18.5	29.6	21.0	17.3	35.8	19.8	17.3	12.3	44.4	2.5	2.5		
中筋地区 (N=84)	26.2	25.0	17.9	29.8	22.6	19.0	39.3	13.1	23.8	10.7	32.1	1.2	3.6		
曾根地区 (N=77)	22.1	31.2	26.0	26.0	20.8	18.2	26.0	14.3	26.0	5.2	44.2	1.3	2.6		
米田地区 (N=64)	26.6	23.4	23.4	32.8	18.8	12.5	45.3	21.9	17.2	9.4	39.1	0.0	3.1		
阿弥陀地区 (N=100)	33.0	29.0	24.0	28.0	17.0	13.0	33.0	19.0	14.0	13.0	40.0	2.0	3.0		
北浜地区 (N=87)	37.9	27.6	29.9	21.8	21.8	16.1	37.9	17.2	20.7	6.9	36.8	0.0	4.6		

問 35 少子化に歯止めをかけるため、どのような取組に力を入れるべきと考えますか。
次の中から 3 つまで選んで○をつけてください。

「若い世代の経済的安定」、「育児休業の取得や再就職支援など妊娠・出産しても安心して働き続けられる職場環境の整備」、「保育料軽減や進学のための奨学金制度の充実などによる子育て・教育における経済的な負担の軽減」がいずれも 40%を超えており多い。

地区別にみると、全体と比較して「阿弥陀地区」で「若い世代の経済的安定」が多く、「伊保地区」で「妊娠・出産・子育てに関する相談体制や医療体制の整備」が多い。

【図 60 少子化に歯止めをかけるための取組】



【図 61 地区別・少子化に歯止めをかけるための取組】

	会 結 婚 に つ な が る 機 会 の 創 出	祝 婚 に つ な が る 金 や 出 産 祝 い 金 な ど の 直 接 的 な 支 援	安 定 し た 若 い 世 代 の 経 済 的 安 定	直 に 仕 事 と 家 庭 の 調 和 を も た す 働 き 方 の 見 直 し	整 え た 妊 娠 ・ 産 後 の 心 理 的 支 援 や 再 就 職 支 援 な ど の 直 接 的 な 支 援	備 前 に 妊 娠 ・ 産 後 の 心 理 的 支 援 や 再 就 職 支 援 な ど の 直 接 的 な 支 援	の け 子 育 て に 関 連 し た 経 済 的 な 支 援 や 再 就 職 支 援 な ど の 直 接 的 な 支 援	支 多 援 子 の 世 帯 に 対 し た 支 援 の 充 実	境 な ど の 整 備 に よ る 中 小 学 校 の 教 育 環 境 の 充 実	実 等 病 児 保 育 ・ 病 後 児 保 育 の 充 実	そ の 他	無 回 答
全体 (N=639)	22.1	9.4	48.2	16.4	47.4	15.8	46.3	12.7	10.8	38.0	2.2	2.7
高砂地区 (N=50)	18.0	6.0	40.0	16.0	54.0	10.0	52.0	20.0	10.0	48.0	4.0	4.0
荒井地区 (N=92)	18.5	13.0	40.2	16.3	48.9	12.0	45.7	15.2	9.8	42.4	4.3	2.2
伊保地区 (N=81)	24.7	6.2	43.2	14.8	40.7	29.6	50.6	9.9	11.1	34.6	0.0	1.2
中筋地区 (N=84)	21.4	14.3	40.5	17.9	51.2	22.6	35.7	10.7	9.5	34.5	1.2	4.8
曾根地区 (N=77)	14.3	14.3	54.5	18.2	46.8	7.8	48.1	7.8	15.6	33.8	1.3	2.6
米田地区 (N=64)	20.3	4.7	45.3	10.9	51.6	21.9	46.9	15.6	9.4	39.1	3.1	3.1
阿弥陀地区 (N=100)	27.0	8.0	60.0	17.0	42.0	10.0	51.0	12.0	7.0	37.0	2.0	3.0
北浜地区 (N=87)	28.7	5.7	57.5	18.4	48.3	12.6	42.5	12.6	13.8	39.1	2.3	1.1

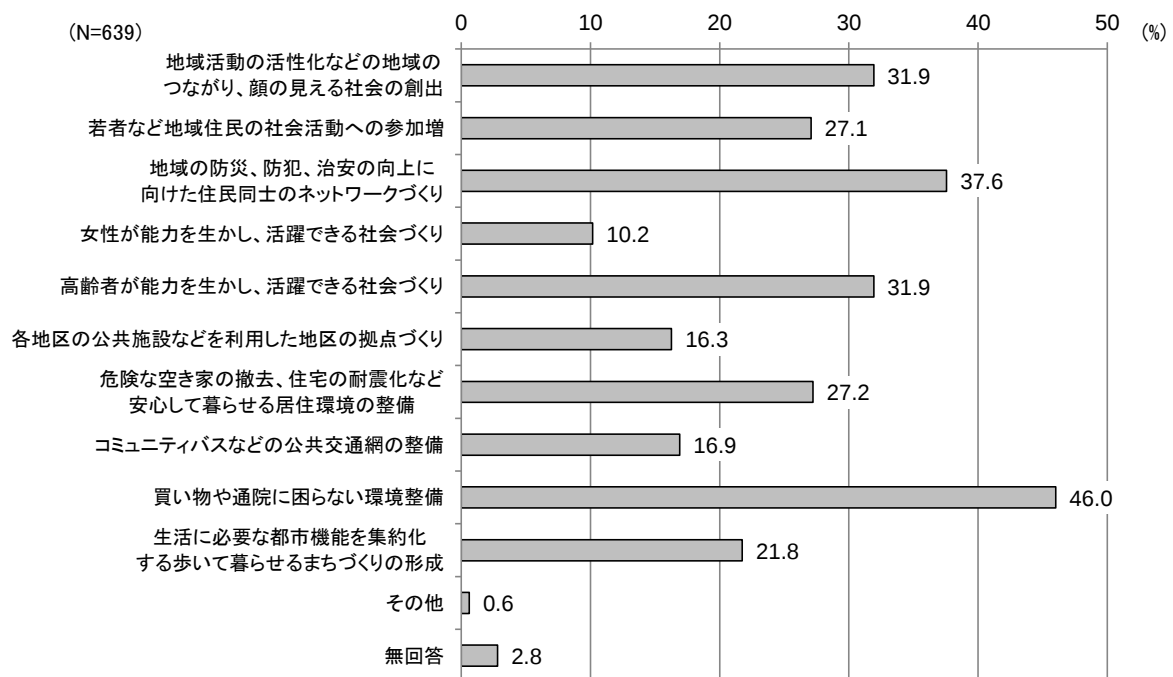
問 36 人口減少社会の中においても、安心して暮らせる地域づくりを行う際に、どのような取組に力を入れるべきと考えますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

最も多いのが、「買い物や通院に困らない環境整備」で46.0%である。

続いて、「地域の防災、防犯、治安の向上に向けた住民同士のネットワークづくり」、「地域活動の活性化などの地域のつながり、顔の見える社会の創出」、「高齢者が能力を生かし、活躍できる社会づくり」が多くいずれも30%以上である。

地区別にみると、「買い物や通院に困らない環境整備」の回答の割合にバラつきがみられる。

【図 62 安心して暮らせる地域づくり】



【図 63 地区別・安心して暮らせる地域づくり】

	の地域活動の活性化など顔の見える社会の創出	若者など地域住民の社会活動への参加増	地域の防災、防犯、治安の向上に向けた住民同士のネットワークづくり	女性が能力を生かし、活躍できる社会づくり	高齢者が能力を生かし、活躍できる社会づくり	各地区の公共施設などを利用した地区の拠点づくり	危険な空き家の撤去、住宅の耐震化など安心して暮らせる居住環境の整備	コミュニティバスなどの公共交通網の整備	買い物や通院に困らない環境整備	生活に必要な都市機能を集約化する歩いて暮らせるまちづくりの形成	その他	無回答
全体 (N=639)	31.9	27.1	37.6	10.2	31.9	16.3	27.2	16.9	46.0	21.8	0.6	2.8
高砂地区 (N=50)	26.0	24.0	34.0	14.0	26.0	12.0	28.0	16.0	60.0	32.0	0.0	4.0
荒井地区 (N=92)	32.6	30.4	33.7	14.1	30.4	17.4	25.0	12.0	43.5	23.9	1.1	2.2
伊保地区 (N=81)	33.3	38.3	44.4	8.6	30.9	21.0	23.5	17.3	30.9	19.8	0.0	2.5
中筋地区 (N=84)	29.8	25.0	33.3	8.3	31.0	15.5	31.0	23.8	45.2	21.4	1.2	3.6
菅根地区 (N=77)	23.4	18.2	45.5	7.8	32.5	13.0	24.7	10.4	54.5	24.7	0.0	3.9
米田地区 (N=64)	29.7	26.6	35.9	9.4	31.3	18.8	25.0	25.0	39.1	20.3	0.0	4.7
阿弥陀地区 (N=100)	37.0	29.0	32.0	13.0	32.0	16.0	25.0	15.0	50.0	21.0	1.0	2.0
北浜地区 (N=87)	37.9	24.1	40.2	6.9	37.9	14.9	34.5	18.4	49.4	14.9	1.1	1.1

6. 自由意見

問 37 あなたが、市外の人に高砂市やお住いの地域の紹介をするとした場合、何をアピールしますか。〈自由記載〉

有効回答 639 件に対し、275 件の意見を得た。主な意見を大きく分類すると、「文化」、「自然」、「生活環境」、「交通」、「なし」である。それぞれ代表的な意見を示す。

▼文化

各地区で催される秋祭り。

謡曲「高砂」の街であること。

高砂市にしかない史跡・神社仏閣等（石の宝殿、竜山石、生石神社）。

ブライダル都市。

歴史の街並み紹介。

▼生活環境

病院、商店、学校などが生活圏にあり利便性が高い。

子供の医療費の助成。

環境と住み心地の良さ。

地域のコミュニティが濃く、人とのつながりが強い。

都会すぎず田舎すぎず生活するにはよい。

犯罪が少ない。

水道料金が他自治体よりも安い。

▼自然環境

海、山、川が近く、自然を身近に感じることができる。

気候が良く自然環境に恵まれ住みやすい。

自然がまわりにあり子供たちが暮らしやすい。

自然災害が少ないので安心して暮らせる。

静かで空気がきれい。

野菜、魚が新鮮でおいしい。

▼交通

交通の利便性が高い。

神戸や姫路方面へアクセスしやすい。

▼なし

アピールするところがない。

これといった特徴が無い。

なにもないことがアピールポイントである。

▼他

大手企業が多い。

問 38 これまでの質問で補足することや高砂市のこれからのまちづくりについて、ご意見等がありましたらお聞かせください。〈自由記載〉

有効回答 639 件に対し、258 件の意見を得た。主な意見を大きく分類すると、「少子高齢化、人口減少対策」、「交通」、「文化・スポーツ」、「生活の利便性」、「防災・防犯対策」、「市のアピール」、「行政サービスの改善・要望」である。それぞれ代表的な意見を示す。

▼少子高齢化、人口減少対策

出生率の低さが全国平均、県平均よりかなり低いのは問題である。

若い人に住んでもらうためには、市内に住んで市内に勤める人や、Uターンの人に優遇策を出すなどの金銭的なメリットや子育てのしやすさが必要である。

結婚しない若者が多い。出会いの機会を提供することが必要。

子供が多くても生活しやすくなるように、多子世帯には援助を増やす。

高齢者の能力を社会に役立て、高齢者の自己実現と労働力不足を解消する。

神戸市、姫路市で働く人のベッドタウンになるよう住宅地を開発する。

他の府県へ転出を減らすためづくり、若い人が地元で就職できるように、地元企業の雇用拡大を促進させる。

若い人たちが安定した仕事に就けるよう、産業を創出する。

▼交通

道路の舗装状況が悪いところがある。

送迎車両の駐停車場所や自転車置き場の確保など JR 曾根駅周辺の整備を進めてほしい。

コミュニティバスの路線や時間帯を見直しなど公共交通網の整備を進めてほしい。

道幅が狭い道路が多く、徒歩でも自動車でも危険を感じる。自家用車がなくても自転車や徒歩での移動がしやすいよう整備して欲しい。

▼文化・スポーツ

申義堂など文化的、歴史的価値のある建築物の有効活用を進める。

余暇時間に文化やスポーツを楽しめる機会や場所が少ない。

趣味が持て、活かせる場所が多ければ高齢者の生きがいにつながるだろう。

日常的に文化、芸術に触れられるまちづくりを進める。

緑が少なく、また高齢者がゆったりとくつろげるような公園や施設が少ないので整備してほしい。

▼生活の利便性

高砂地区では特に高齢化が進んでいる。買い物しやすい環境（店舗誘致）を整えてほしい。

買回り品は他市で購入している。出張販売のようなものがあると良い。

県営病院を誘致するなど、医療サービスの充実を図ってほしい。

医療費（高齢者、子供）の補助の充実。

児童館のような子供が安心して集える施設が近くにない。

子供たちが道路でよく遊んでおり、大変危険である。安全な空き地の利用や公園の整備をして、子供たちの安全を確保してほしい。

▼防災・防犯対策

防災対策、減災対策を充実させ、災害に強いまちづくりを推進してほしい。

最近、空家が増え、管理されていないので放火などの危険を感じる。

水害に強いまちづくりのための河川の整備を進めてほしい。

▼市のアピール

ゆるキャラ「ぼっくりん」にどんどん活躍し高砂市をアピールしてもらいたい。

高砂市の歴史的価値を紹介して観光業にも力を入れる。

高砂市特有の名産品の開発。

「これが高砂市だ！」とアピールできるものがほしい。

▼行政サービスの改善・要望

出先機関（支所）におけるワンストップサービスの実施。

行政の地域活性化担当者と各地域との対話がスムーズに出来るような体制づくり。

部局間の横の調整をしっかりと行ってほしい。

市役所の受付時間を延長してほしい。

各種団体への補助金の成果や必要性をチェックしているのか。

高砂市の財政は苦しいと聞くが、財政復興のために何をすべきか答えを知りたい。

目玉となる特徴のある施策を打ち出してほしい。

▼他

市役所の建設と補強を進める。

現状の高砂市だけでは、取組が難しいなら、他市との合併を検討する。

既存の製造業の衰退を抑え、支援する。

大企業転出は今後も続くと思う。行政は地場産業支援に力を入れてほしい。

大企業が多く在りながら活かしきれていない。官民一体となった取り組みを行う。

地域コミュニティへの支援。

以前は、企業が多く、税や水道代が安い町だったが、このところ全然特徴の無い市になった。

自治会を中心とした施策が検討されているが、自治会役員も就業中であつたり、または高齢化が進み、マンパワーが不足している。

ご近所づきあいは大変なこともあるが、嬉しいこともある。地域みんなの心を通わせるまちづくりを進めたい。

元気な高齢者も多い。みんなで集まって活動したいが仕方が分からないこともある。もっと高齢者の力を使ってほしい。

高齢者が能力を活かし活躍できる社会づくりや若者による地域の魅力づくりの支援等、地域の活性化を願っている。

Ⅲ アンケート調査票

居住環境、人口減少対策についてのアンケート

ご協力のお願い

新緑の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より自治会の皆様には、市政全般にわたり、ご理解ならびにご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、本市では、まちづくりの目標や指針を示した市政の最上位計画である「第4次高砂市総合計画」に基づいて、生活文化都市の実現に向けた各種施策を展開しています。

この計画は平成32年度までの計画であり、本年度はその中間年にあたることから基本計画の見直し作業を行うとともに、国と一体的に人口減少対策や地域の魅力創造を行う、いわゆる地方創生のための高砂市地方創生総合戦略の策定作業を併せて進めております。

この調査は、地域の実情にお詳しく、課題に直面しておられる自治会の皆様に、市の施策や取り組みに関して、お考えやご意見をお伺いし、基本計画の見直しや地方創生総合戦略策定の基礎資料とすることを目的に実施するものです。

たいへんお手数をおかけいたしますが、将来に向けた本市のまちづくりのため、ぜひ調査にご協力くださいますようお願いいたします。

平成27年5月

高砂市長 登 幸人

ご記入にあたってのお願い

- 1 このアンケートは、地域活動の最前線でご活躍されておられる自治会の役員や隣保長などの方にご記入をお願いするものです。
- 2 ご回答は無記名でお願いします。(調査結果は統計的な数値、自由意見については個人が特定されないようとりまとめたうえで公表します。)
- 3 未来への展望だけでなく、直面する課題に対応していくための施策への基礎資料とします。
- 4 ご回答は、質問ごとの説明にそって、調査票に直接ご記入ください。
- 5 ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手は不要です。)にいて、

5月29日までに郵便ポストに投函してください。

お問合せ

高砂市 企画総務部 経営企画室

電話 079-443-9007(直通) ファックス 079-442-2229

Eメール tact2110@city.takasago.hyogo.jp

あなたご自身のことについて伺います

問1～7 それぞれの項目ごとに、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

問1 性別	1 男	2 女
問2 年齢	1 29歳以下 2 30歳から39歳まで 3 40歳から49歳まで	4 50歳から59歳まで 5 60歳から69歳 6 70歳以上
問3 家族構成	1 単身世帯 2 夫婦世帯 3 2世代（親と子）の世帯	4 3世代（親と子と孫）の世帯 5 その他
問4 居住地区	1 高砂地区 2 荒井地区 3 伊保地区	4 中筋地区 5 曾根地区 6 米田地区 7 阿弥陀地区 8 北浜地区 9 わからない
問5 市内居住期間	1 5年未満 2 5年以上10年未満 3 10年以上20年未満	4 20年以上30年未満 5 30年以上
問6 職業	1 給与所得者 2 パート・アルバイト 3 農林水産業 4 自営業	5 家事従事者 6 無職 7 その他
問7 通勤先	1 高砂市内（自宅含む） 2 加古川市、明石市、稲美町、播磨町 3 神戸市、阪神間の市	4 姫路市 5 その他 6 なし

お住いの地域のことについて伺います

（※「地域」とは、お住まいの自治会及びその周辺でお考えください。）

問8～11 それぞれの項目ごとに、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

問8 あなたは、お住いの地域に「自分のまち」として、どの程度『愛着・親しみ』をもっていますか。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 もっている | 4 もっていない |
| 2 ある程度もっている | 5 どちらともいえない |
| 3 あまりもっていない | |

問9 あなたは、お住いの地域を住みよいまちだと感じますか。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1 住みよい | 4 住みにくい |
| 2 どちらかといえば住みよい | 5 どちらともいえない |
| 3 どちらかといえば住みにくい | |

問 10 あなたは、今後もお住いの地域に住み続けたいと思いますか。

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1 住み続けたい | 4 住み続けたくない |
| 2 どちらかといえば住み続けたい | 5 どちらともいえない |
| 3 どちらかといえば住み続けたくない | |

問 11 あなたが、もし住所地を変えるなら、どこに住みたいと思いますか。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 市内（町・地区） | 2 市外（市・町） |
| 3 その他（） | 4 住所地を変える必要はない |
| 5 わからない・考えたこともない | |

お住いの地域の生活環境について伺います

問 12～24 あなたのお住まい周辺の生活環境について伺います。

次にあげる項目についてどの程度満足していますか。

それぞれの項目ごとに、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

問 12 自然環境	1 満足	2 やや満足	3 ふつう	4 やや不満	5 不満
問 13 街並み・景観	1 満足	2 やや満足	3 ふつう	4 やや不満	5 不満
問 14 地震・火災・風水害 などの災害に対する 安心感	1 満足	2 やや満足	3 ふつう	4 やや不満	5 不満
問 15 風紀上・防犯上の 安心感	1 満足	2 やや満足	3 ふつう	4 やや不満	5 不満
問 16 交通事故・危険物か らの安心感	1 満足	2 やや満足	3 ふつう	4 やや不満	5 不満
問 17 家の周りの静けさ	1 満足	2 やや満足	3 ふつう	4 やや不満	5 不満
問 18 周辺のきれいさ	1 満足	2 やや満足	3 ふつう	4 やや不満	5 不満
問 19 公園や緑の豊かさ	1 満足	2 やや満足	3 ふつう	4 やや不満	5 不満
問 20 スポーツ・レクリエ ーション、文化活動に 親しむ環境	1 満足	2 やや満足	3 ふつう	4 やや不満	5 不満
問 21 病院・医院などへの 行きやすさ	1 満足	2 やや満足	3 ふつう	4 やや不満	5 不満
問 22 買い物の便利さ	1 満足	2 やや満足	3 ふつう	4 やや不満	5 不満
問 23 交通機関の利便性	1 満足	2 やや満足	3 ふつう	4 やや不満	5 不満
問 24 車を利用する上 での道路事情	1 満足	2 やや満足	3 ふつう	4 やや不満	5 不満

問 25 あなたのお住まいの地域は、子どもを育てることに適している環境だと思いますか。

あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------------|----------|
| 1 適している | 4 適していない |
| 2 どちらかといえば適している | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば適していない | |

問 26 あなたのお住まいの地域は、高齢者が暮らしやすい環境だと思いますか。

あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------------|----------|
| 1 暮らしやすい | 4 暮らしにくい |
| 2 どちらかといえば暮らしやすい | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば暮らしにくい | |

問 27 あなたのお住まいの地域が活力を取り戻したり、更に活性化したりするために、特に期待する行政の政策はどのようなものですか。次の中から 3つまで選んで○をつけてください。

- 1 誰もが共に暮らせるための福祉や医療の充実
- 2 多彩な文化活動の展開やスポーツなどを通じた健康づくり
- 3 生涯学習の機会や場づくり
- 4 地域が元気になる活動の中心となる人材の育成
- 5 地域が元気になる活動に住民が参加できる仕組みの整備
- 6 教育環境の充実や子育てしやすいまちづくり
- 7 安心して住み続けるための防災・救急対策の充実
- 8 犯罪や交通事故防止など安全性の確保
- 9 駅前や駅周辺、中心となる拠点地域の整備
- 10 コミュニティバスなどの公共交通の充実
- 11 徒歩や自転車での移動が容易な道路整備
- 12 商店街の活性化対策や、まちなかの居住環境の向上
- 13 公園や水辺などの生活環境の基盤整備
- 14 美しいまちなみの形成や豊かな自然の保全
- 15 地域に雇用を生み出す産業の創出、企業誘致などの産業振興の基盤整備
- 16 農業・水産業や伝統的な地場産業、地域の既存産業の振興
- 17 祭り、自然、町並みなどの地域資源を活かした観光・交流の促進
- 18 リサイクルや二酸化炭素の排出抑制など環境に配慮したまちづくり
- 19 地域独自の情報発信のためのメディアやIT基盤の充実
- 20 特にない
- 21 わからない
- 22 その他 ()

問 28 あなたのお住まいの地域の人たちは、つながりがあると感じますか。

あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- 1 とても感じる 2 感じる 3 あまり感じない 4 感じない

問 29 つながりを感じるには、どのような取組が必要だと思いますか。(自由記載)

人口が減少していくことについて伺います

問 30 人口が減少していくことについてあなたの考えに最も近いものを1つだけ選んでください。

- 1 人口減少は望ましくなく、現在より増加するよう努力すべきだと思う
2 人口減少は望ましくなく、現在程度の人口維持を目指すべきだと思う
3 人口減少はやむを得ないが、なるべく減少に歯止めをかけるべきだと思う
4 人口減少はやむを得ない
5 その他 ()

問 31 人口減少が進行していった場合に生じる高砂市全体への影響について、次のうちからあなたが特に影響が大きいと考えることを1つだけ選んで○をつけてください。

- 1 国や地方が税収減となり、行政サービスが低下する
2 年金の減額や社会保険料や医療費の増額などの社会保障に係る個人の負担増
3 地域を支える担い手の不足や地域での活動力の低下
4 労働力人口の減少などによる地域の産業の衰退
5 人口減少による消費減などで、商店の撤退や商店街などのにぎわいが喪失
6 地域の伝統や文化の担い手の喪失
7 スポーツ、文化、娯楽などの活動団体や活動する機会の減少
8 それほど影響はない
9 その他 ()

問 32 あなたの住まいの地域において、人口の減少や少子化、また、高齢化により困っていることはありますか。または、これから先どのような不安を感じますか。

困っていることや不安に感じることがありましたらご記入ください。（自由記載）

人口減少対策の取組について伺います

問 33 高砂市の経済活性化を行う際に、どのような取組に力を入れるべきと考えますか。

次の中から 3 つまで 選んで○をつけてください。

- 1 企業誘致、起業しやすい環境の整備などによる新規産業の創出
- 2 生産性向上や商圈拡大の支援などによる商工業の振興
- 3 正規雇用の拡大や雇用のミスマッチ(求人と求職のニーズが一致しないこと)の解消
- 4 6次産業化（農業や水産業の第1次産業が加工や販売をおこなうこと）や地域商品のブランド化などによる産業の振興
- 5 女性管理職の登用拡大や職域拡大など女性の活躍促進
- 6 高砂市の特性を生かした観光産業の振興
- 7 学校、企業等と連携したキャリア教育の推進など若者の人材育成
- 8 産業振興につながる道路等の整備や ICT（情報通信技術）環境等の社会基盤の整備
- 9 その他（ ）

問 34 若年層の転入・転出などの対策として、どのような取組に力を入れるべきと考えますか。

次の中から 3 つまで 選んで○をつけてください。

- 1 移住者、Uターン者の増加に向けた情報発信やサポート体制の充実
- 2 正規雇用の拡大や雇用のミスマッチ(求人と求職のニーズが一致しないこと)の解消
- 3 起業など若者がチャレンジしやすい環境の整備
- 4 若者による地域の魅力づくりの支援
- 5 道路など生活環境の整備や公共交通機関の充実
- 6 良好な住宅地の開発
- 7 空き家などの改修助成、住宅取得の助成・低利融資、家賃補助
- 8 企業等と連携した住宅施策や雇用助成
- 9 ショッピングモールや娯楽施設などの誘致
- 10 ふるさと意識の醸成
- 11 子どもの教育や子育て環境の充実
- 12 その他（ ）

問 35 少子化に歯止めをかけるため、どのような取組に力を入れるべきと考えますか。
次の中から 3 つまで選んで○をつけてください。

- 1 結婚につながる出会いの機会創出
- 2 結婚祝い金や出産祝い金などの直接的な支援
- 3 若い世代の経済的安定
- 4 仕事と家庭の調和（ワーク・ライフ・バランス）による働き方の見直し
- 5 育児休業の取得や再就職支援など妊娠・出産しても安心して働き続けられる職場環境の整備
- 6 妊娠・出産・子育てに関する相談体制や医療体制の整備
- 7 保育料軽減や進学のための奨学金制度の充実などによる子育て・教育における経済的な負担の軽減
- 8 多子世帯に対する支援の充実
- 9 幼児教育や少人数学級、小中一貫校などによる教育環境の整備
- 10 病児・病後児保育、一時・休日保育、学童保育、放課後児童クラブ等の保育環境の充実
- 11 その他（ ）

問 36 人口減少社会の中においても、安心して暮らせる地域づくりを行う際に、どのような取組に力を入れるべきと考えますか。次の中から 3 つまで選んで○をつけてください。

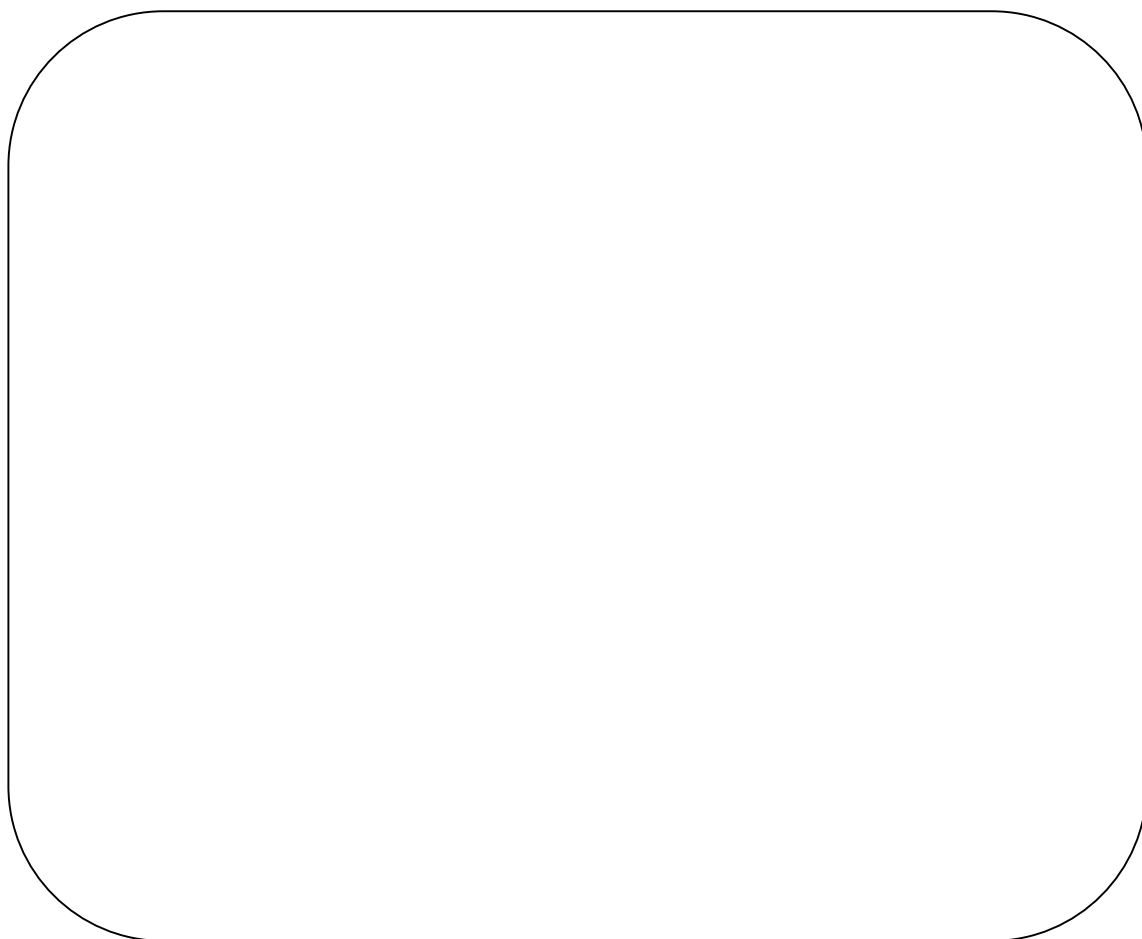
- 1 地域活動の活性化などの地域のつながり、顔の見える社会の創出
- 2 若者など地域住民の社会活動への参加増
- 3 地域の防災、防犯、治安の向上に向けた住民同士のネットワークづくり
- 4 女性が能力を生かし、活躍できる社会づくり
- 5 高齢者が能力を生かし、活躍できる社会づくり
- 6 各地区の公共施設などを利用した地区の拠点づくり
- 7 危険な空き家の撤去、住宅の耐震化など安心して暮らせる居住環境の整備
- 8 コミュニティバスなどの公共交通網の整備
- 9 買い物や通院に困らない環境整備
- 10 生活に必要な都市機能を集約化する歩いて暮らせるまちづくり（コンパクトシティ）の形成
- 11 その他（ ）

自由意見

問 37 あなたが、市外の人に高砂市やお住いの地域の紹介をするとした場合、何をアピールしますか。〈自由記載〉



問 38 これまでの質問で補足することや高砂市のこれからのまちづくりについて、ご意見等がありましたらお聞かせください。〈自由記載〉



ご協力ありがとうございました
添付の返信用封筒に入れ、

5月29日までに郵便ポストに投函してください